

みんなの
ための
学校長会に



校長会HP

茨城県 学校長会広報

第259号

発行者
茨城県学校長会
会長 大芝 静香
事務局
〒311-1125
水戸市大場町933-1
教育プラザいばらき内
☎ 029-269-1300
FAX 029-269-1304

第4期中期教育ビジョン（第2年次）

特集

各部・各委員会の構想

新会員紹介



目次

- 表紙写真に寄せて……………1
- 会長あいさつ……………2
- 令和六年度
- 本年度の活動の方向性……………2
- 特集「各部・各委員会の構想」……………3
- 特別寄稿「新たな時代へ進むために」……………4
- 茨城県学校長会基本方針及び
第4期中期教育ビジョン……………7
- 課題「人を活かす育てる基本」……………8
- 市町村教育委員会と学校長会……………9
- 提言二題……………10
- 経営研究
- 「創意と活力に満ちた学校経営」……………11
- 特集「新会員の抱負」……………15
- 再任会員名簿……………28

いきて働く力を育む

日立 会瀬小
鈴木 美知子

本校は毎朝、有志による明るい挨拶運動で一日が始まります。「いきて働く力を育む安心して学べる環境をつくる」をモットーに、児童の主体性を育む教育活動を進めています。児童数は一九九名。児童数が減少し、異学年や地域等との関わりがさらに重要になってきました。今年には縦割り班活動を、地域資源である海を活用し、浜遊び集会という形で、地域や保護者の協力を得て実施しました。様々な体験や人との関わりが児童にいきて働く力となることを願います。

活力ある学校創りに向けて

茨城県学校長会

会長 大芝 静香

(水戸・第一中)

五月十日の総会では、校長としての職責を自覚し、県学校長会として結束を強めるとともに、情報交換等の充実も図ることができました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

平成二十五年度から取組を進めている「中期教育ビジョン」について、今年度は「第四期」の二年次として「次世代を担う『人財』を育成し、新しい時代の学校教育を推進する」とし、スクールリーダーの育成及び教職員の研修の充実を重点に取り組んでまいります。

学校に山積する課題を改善し、これからの子供たちに必要な力を身に付けさせるためには、新たな教師の学びの姿を実現し、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成が必要です。

教職員が、自ら学び続け、やりがいと誇りをもって教育活動に臨むことが、子供たちを元気にし、活力のある学校創りにつながります。私たち校長は、働き方改革をはじめ、その環境づくりをしつかりと行い、教職員のウェルビーイングを高めていきたいと思っております。

本年度の活動の方向性

学校・家庭・地域がそれぞれの役割を十分に果たしながら、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」のバランスのとれた子供たちの育成に取り組む中、茨城県学校長会は、「理念も実践も兼ね備えた有言実行の教育専門家集団」として、教育の中心的な役割を担う組織としての自覚のもと、活動を推進していく。

学校において、私たち校長は、トップリーダーとして明確なビジョンを示し、具体的な実践と検証を重ねながら、創意と活力に満ちた学校経営に努め、学校からの教育改革を推進することで、県民の信頼と期待に応えなければならない。

茨城県学校長会は、教育基本法を踏まえ、先達が築いてきた精神と業績を継承するとともに、英知と情熱を結集して、基本方針と第四期中期教育ビジョンに示した今年度の活動目標の具現化に努める。

【令和6年度に向けて】

第4期中期教育ビジョンにおける令和5年度の評価・検証の結果を踏まえ、「多様な専門性を有する質の高い教職員集団」の形成に向けて、「資質の向上に関する育成指標」を踏まえた研修と実践による教員の資質の向上を図ることにより、第75回茨城県教育振興大会において示された宣言の実現に向け、教育活動のより一層の充実を図る。

第75回 茨城県教育振興大会宣言(令和6年1月31日)

- 1 安全・安心な教育環境を確保する。
- 1 次世代を担う「人財」の育成を目指し、創意ある教育活動を展開する。
- 1 信頼され、期待に応える教職員を目指す。

【令和6年度の重点】

第4期中期教育ビジョン(令和5～7年度3か年計画の2年次)

次世代を担う「人財」を育成し、新しい時代の学校教育を推進する



<視点1> 行政との連携	<視点2> 学校の取組
<p>「人財」育成のための働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員免許更新制の発展的解消に伴う「新たな教師の学び」の実現に向けた仕組みの構築 ○質の高い教育実現のための人的配置に向けた調査研究 ○管理職(スクールリーダー)育成のための連携強化 ○教職をめざす人財確保のための教員の魅力発信(大学等) 	<p>教職員の「人財」育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教職員の資質・能力向上のための校内研修の充実 ○教職員一人一人との対話に基づくキャリアステージに応じた研修の奨励 ○教師自らの主体的な学びのためのマネジメント ○専門的な知識や技能を生かすための教育委員会、大学、各種団体との連携

各部・各委員会の構想

小学校部会



校長の創造性を活かした 学校経営の推進

部会長 鈴木 宏一
(水戸・三の丸小)

中教審「質の高い教師の確保部会」で「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について(審議のまとめ)が示されました。

この「審議のまとめ」は、「全ての子どもたちへのより良い教育の実現」に向けて、勤務状況を改善し、教職員が、健康な状態で、学ぶ時間を確保しながら、専門性を最大限に発揮して、活き活きと子どもたちへの教育に向き合えるよう、教職の魅力を上し、教育の取り巻く環境を整備するための具体策を提言したものです。

憂慮すべき状況です。

そのような中、教職員の魅力を上し、よりよい教育活動を進めていく上で、学校の教育環境を整備することは必須です。

小学校部会では各地区や各小学校の現状や課題を取り上げ、諸課題に対して協議ができる場でありたいと思います。

校長としてこれから求められることは、リーダーシップ、先見性、課題解決能力、覚悟などいろいろありますが、大切にすることは、校長の創造性を十分に発揮した学校経営だと思えます。

諸課題を解決に導きながら、学校独自の特色をどのように表現していくか、今後、自らの学校が生き残るためにはどのような施策が必要かなどを踏まえ、自校の強みを生かした学校づくりが一つの視点となっていくと考えられます。

学校の取組を発信、共有し様々な情報を整理し自校化する柔軟な姿勢、新しいことへ取り組む勇氣、新しい取り組みに対する意味づけなど校長自らの取組も評価される時代です。

九月に実施される小中学校研究協議会では各学校の取組状況

中学校部会



課題解決に向けた 連携強化を図る

部会長 大芝 静香
(水戸・第一中)

六月の関東甲信越地区中学校長会研究協議会茨城大会では、「新たな時代を切り開き、よりよい社会を形成していく人間を育てる中学校教育」を全体協議題として、全体会、講演、分科会が行われ、成功裏に終わることができました。先生方には、準備から運営等にご尽力いただき、心より感謝いたします。

全体協議では、ひたちなか市校長会において研究を進めていただき、市校長会としての連携した取組の重要性和その成果をお示しいただきました。また、

や課題を共有することはもちろん、学校の在り方について話ができる時間でありたいと思います。どのような時代でも、校長の創造性を活かし、次世代につなげられる学校づくりを目指していければと考えております。

九分科会において、それぞれの協議題について先生方の取組を中心に、成果の発表と研究協議を行っていただきました。

他都県からの参加者からは、協議が充実し研修が深まった、有意義な情報交換ができた等、高い評価の声を多数いただきました。充実した大会となりました。

数年にわたる準備により、負担は大きかったものの、他市町村の校長同士がともに活動することで連携が深まり、学校経営にも生かされたとの声をいただきました。

研究協議等での協議や意見交換では、各都県でも多様化・深刻化する生徒等の課題への対応、教員不足の解消や働き方改革、部活動の地域移行などの課題が山積し、教職員の資質能力の向上が急務となっていることが共通する課題でした。

令和の日本型学校教育の実現に向けて学び続ける教職員を育て、高度な専門性を有した教職員集団づくりが求められています。一朝一夕に進むものではありません。

人財育成に向けて、「育成指標」に基づき、キャリアアステージに応じた指導力や課題への対応力などの資質能力の向上に向け、個別最適に研修の奨励等を行う必要があります。

それには、個々の教職員の力量を見極め、教員が学びの成果を振り返りその成長を実感できること、蓄積された自らの学びを客観視すること、そして、さらに伸ばしたい分野・領域等を見出し次の学びへと向かう、というPDCAサイクルを確立することが重要です。

この機会や今後の研究協議会等で得られた研修成果と、先生方同士の連携を活用し、学校経営の充実を図っていききたいと考えています。

特別寄稿



新たな時代へ進むために

教育庁学校教育部義務教育課 副参事 山口英司

先行きが不透明な世界情勢、生成AIの驚異的な進歩、急激な人口減少など、将来を見通すことが困難である今の時代を乗り越えるためには、様々な課題に挑戦し、何が求められているのかを考え、自ら解決に向けて行動することが重要です。

県では、これまでの学校教育のよさを継承するとともに、新たな時代へ進むために、これまでの考え方や仕組みを変えていくよい機会と捉え、「令和の日本型学校教育」で示されたすべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現に向け、魅力ある学校づくりをさらに推進してまいります。

今年度の学校教育推進の重点は、昨年度と同様、「すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり（学校教育指導方針頁二二三）」としました。その重点の真ん中に「豊かな学びの展開」を据え、それを「カリキュラム・マネジメントの確立」と「安心して学べる環境の保障」の両輪で支える形で

す。さらに、今年度は、新たに「探究的な学び」と「魅力ある学校・学級づくり」のイメージ図（同頁四〜五）を掲載し、探究的な学びを進めるためには、生徒指導の視点が大切であり、児童生徒が安心して学べる環境が欠かせないことを改めて示させていただきました。

現在、各学校では、児童生徒が一人一台端末を活用しながら、周りの友人との対話を通して試行錯誤しながら課題を解決していく探究活動や、個別最適な学びの充実のための習熟度別指導など、工夫した授業を積み重ねていただいているところです。今年度、県では、新規事業「いばらきオンラインスタディplus」を立ち上げ、指導力のある先生方による遠隔授業（ライブ授業配信と動画配信）をスタートしました。動画配信は県内すべての小中学校で視聴可能ですので、これまでの様々な授業動画と併せて、校内研修や児童生徒の個別学習に活用してください。

また、未来を拓く子供たちを育成するためには、先生方一人一人の力量を高めること、そして多様な専門性を有する質の高い教員集団を形成することが重要です。県では、働き方改革の本来のねらいである「教員が子供と向き合う時間」や「教員自身のスキルアップのための研鑽の時間」を確保し、先生方が働きやすい職場環境になるよう、さらに学校の働き方改革を進めてまいります。

これまで述べてきたことを実現させるには、校長先生方の学校マネジメントが鍵となることについては理解いただけたと思います。学校は、今、教育改革の真只中にあると言っても過言ではありません。校長先生方は、次の時代を見通し、社会の変化を敏感に感じ取ることが大切です。これまでの考え方や仕組みを再整理していただき、「それは本当に子供のためになるのか、先生方のためになるのか」を考え、リーダーシップを十分に発揮していただきたいと思えます。子供たち、そして先生方にとって、充実した、活力に満ちた学校になるよう、御尽力いただけますよう、よろしくお願いいたします。

行財政



第四期中期教育ビジョンの具現化に向けて

委員長 朝日 広一

本委員会は、行財政上の諸問題に関する調査と研究を行い、「教育行政に関する要望書」を作成し、県学校長会として、県教育委員会教育長へ提出する活動を行います。

二 活動内容

- 副委員長 増田 浩一(水・飯富小)
幹事 庄司 敏子(水・柳河小)
同 石川 聡(水・赤塚小)
小委員会代表 福原 和枝(桜南飯田小)
同 長谷部和弘(北郷小)

(一)教育課題解決のための諸施策に関する調査研究

①全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びのために

②「人財」育成と学校組織の充実を図るために

③充実した教職生活の実現のために

④本県教育の一層の充実・発展を図るための市町村当局への助言について

※全小・中・義務教育学校の校長と一部教諭を対象にアンケートを実施

(二)県への要望

①全校長等のアンケート結果を分析し、要望書を作成し、要望活動を行う。

②義務教育課との合同検討会により、要望内容の明確化と進捗状況の確認を行う。

一 組織

- 委員長 朝日 広一(水・笠原中)
副委員長 細谷 康之(水・酒門小)

法 制



「学校長必携（第三十八集）」の発行に向けて

委員長 藤 枝 祥 子

本委員会は、学校運営上の法的問題に関する調査研究を行い、教職員の法制意識の向上と、円滑な学校経営に資することを目的としています。

本年度は、県内の校長先生からいただいた学校経営上の疑問等を集約・整理した「学校長必携（第三十八集）」の作成に向けて活動してまいります。県教頭会「法制研修会記録」と合本し「学校運営のための法制問答集」として各学校等に配付します。

一 組織

- 委員長 藤枝 祥子(水・第二中)
副委員長 小泉 裕子(日・仲町小)
幹 事 横関 正俊(魏郡下隰小)
幹 事 佐藤 雅記(小・小川南小)
同 木村 真理(水・双葉台小)
同 小委員 玉淵 智巳(笠友部・中)

二 活動内容

- (一)「学校長必携（第三十八集）」の発行
(二)「学校経営上の諸問題」の調査・研究

三 活動計画

- (一)委員会(五月・三月)
・組織づくり
・活動内容及び事業計画の検討
・今年度事業反省
・次年度の活動計画の検討
(二)小委員会・ブロック別委員研究会(七月〜二月)
・学校運営上の課題とその回答の検討
・「学校長必携（第三十八集）」編集作業
(三)教頭会法制部との連携による「学校運営のための法制問答集」の編集と発行
・学校経営上の諸問題について県教育庁学校教育部署義務教育課管理主事による指導・助言

本委員会は、教育における今日的課題等について県内各校の調査を行うことよって現状を把握し、県学校長会が課題解決に向けて提言・活動等を行うための資料として、調査結果を提供することを主な目的として活動しています。
今年度は「第四期中期教育ビジョン」の二年目として、前年度の調査結果と比較・検討を行い、実効性のある「人財育成」に向けた研究を推進してまいります。
各調査の結果は、各学校の経営や業務の改善に生かせるように還元いたします。
また、各学校の「特色ある教育活動」への取組を調査し、相互に参考にできるように結果を公表し、各学校の教育活動や研究の改善、活性化の一助としていただく活動を行ってまいります。

調 査 研 究



「人財」を育成し、創意ある学校教育を推進するための調査活動

委員長 田 村 悟

- 同 二重作洋夫(銚子・旭西小)
同 岡田 浩三(伊奈小)
同 川島 敬一(結・絹川小)
幹 事 関口 一治(水・見川小)
同 田村 寿俊(魏郡・石神小)

二 活動内容

- (一)第四期中期教育ビジョンの重点である「人財育成」に向けた調査の実施・分析
〈視点一〉行政との連携

広 報



会員相互の交流の場に

委員長 桑 名 実

広報委員会は、会員相互の情報共有を図るとともに、学校現場で直面している様々な課題の解決に役立つ会報の作成に努めてまいります。

一 組織

- 委員長 桑名 実(水・種荷小)
副委員長 鈴木 麻紀(水・五軒小)
同 篠崎 昌子(那珂郡村松小)
幹 事 中根 泰司(水・常澄中)
同 豊田かおり(東茨・常北小)
同 木野内喜久恵(水・梅が丘小)
校正委員 宇陀 幸代(ひ・堀口小)
同 小委員 菊池 恵子(菅大・山方小)

- 〈視点二〉学校の取組
(一)各校の「特色ある教育活動」の調査
・Webページへの掲載
(二)「勤務実態」に関する調査の継続実施及び分析・考察
・十月における超過勤務時間数等の調査
(三)全連小・全日中への各種調査への協力等
・調査依頼校の選定
・調査用紙等の集約と報告
・研究校便覧掲載校の推薦
※本年度も各種調査へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

- 同 環 聡美(菅大・墨小中)
同 小堀 隆弘(高・松岡中)
同 川田 寛子(神・野東小)
同 方波見 諭(銚子・旭東小)
同 松本 浩一(王・土浦四中)
同 小山 光之(石・林小)
同 河村 博行(牛・中根小)
同 塚本 明(水・香取台小)
同 中里 憲一(水・霞ヶ浦東)
同 櫻井 芳則(み・小絹小)
同 大谷 良明(古・八俣小)
同 海老根健治(緒・江川南小)
同 落合 睦美(筑・伊讃小)
同 鈴木 忠雄(坂・宍井小)

二 活動目標

- (一) 学校長会の活動方針・事業等の周知及び情報の共有化
- (二) 会員相互の連帯感(われら意識)の高揚及び情報交換
- (三) その他必要に応じた広報活動

三 発行計画及び内容

- (一) 二五九号(七月)
 - (二) 令和六年度の活動の方向、各部・各委員会の構想、新入会員紹介
 - (三) 二六〇号(十一月)
- 特色ある学校経営、創意を

Web ページ運営



成長を促進する情報共有の力

委員長 興野 庄一

令和三年度より「専門委員会」の位置付けとなり、活動を推進してまいりました。

今年度は、教育プラザWeb管理委員会に保健主事会が加わりWebを介した最新の情報発信の重要性がますます高まっております。

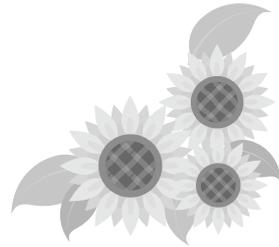
オンライン会議の積極的活用など、運営内容の検討及び方法の改善を継続し、取り組んでまいります。

一 組織

委員長 興野 庄一(水飯當中)

生かした特色ある教育課程(二六一号(一月))

新年度に備えた危機管理体制の整備と学校安全の確保



三 果の掲載

活動の重点

- (一) 各専門委員会との連携・協力、掲載する内容の許諾及び情報保護のためのパスワード等の有効設定
- (二) 過去の情報に関する掲載内容の精選
- (三) 働き方改革を推進するための出張や研修等の在り方、オンラインによる会議やオンデマンド配信の有効活用の啓発

四 活動計画

- (一) 活動内容の具現化のため、Web ページ運営委員会を随時、オンライン等で開催
- ・ Web ページ更新に係る規則や組織、更新方法の確認についての検討
- ・ セキュリティ対策やID とPWの管理の徹底
- ・ 掲載内容の確認、今後の方針について
- (二) 令和六年度の事業の反省及び、令和七年度の計画案の作成
- ・ 更新情報の周知方法等
- ・ 今後の本委員会の組織づくりに関する検討
- ・ 会員がWeb ページを開いて閲覧する機会を多くするための方策

教育振興大会

第七五回 大会宣言

茨城県学校長会と茨城県教育研究会は、本県教育の充実・発展のため、永年にわたり互いに連携しながら、研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

将来の予測が困難な時代において、かけがえのない自他の命を大切にすることを基盤として、生きる力である「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成を推進するとともに、幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域の人々とともにつくっていくことが求められている。

そこで我々は、学校・家庭・

地域社会との連携・協働を推進し、全ての子供の可能性を引き出す活力ある学校づくりに取り組み、教育の目的を実現しなければならぬ。

本会は、これまでの取組の成果を検証し、課題を明確にすることで、多様な教育ニーズへの対応や教育DXの推進を図りながら、持続可能な社会の創り手となる「人財」の育成に情熱を注ぎ、県民の信頼と期待に応えていく決意である。

ここに、第七五回茨城県教育振興大会開催に当たり、次の事項に全力を尽くすことを宣言する。

- 記
- 1 安全・安心な教育環境を確保する。
 - 1 次世代を担う「人財」の育成を目指し、創意ある教育活動を展開する。
 - 1 信頼され、期待に応える教職員を目指す。
- 令和6年1月31日
- 茨城県学校長会
茨城県教育研究会



茨城県学校長会基本方針及び第4期中期教育ビジョン 〈3か年(令和5年度～令和7年度)活動目標〉

1 基本方針

- 1 学校からの教育改革を目指す学校経営の推進
- 2 学校経営の質を高める研究の推進
- 3 茨城県学校長会の組織運営の活性化
- 4 教育諸条件の整備
- 5 関係機関・団体との連携強化

※ これまで取り組んできた精神と業績を継承し、茨城県学校長会の方向性を示したものです。

2 第4期中期教育ビジョン

次世代を担う「人財」を育成し、新しい時代の学校教育を推進する。

※ 基本方針を受けた「3か年活動目標」であり、茨城県学校長会の各組織（専門委員会や支部学校長会）間で連携した活動を通して、校長一人一人の参画型の取組を推進し、結果として「われら意識」を高めていけるよう工夫するためのビジョンです。



【視点1（行政との連携）】

（「人財」育成のための働きかけ）

- 教員免許更新制の発展的解消に伴う、「新たな教師の学びの姿」の実現に向けた仕組みの構築
 - ・大学等との連携
- 質の高い教育のための人的配置に向けた調査研究
 - ・小学校専科教員の現状把握
 - ・部活動の地域移行に向けた連携
 - ・研修派遣に向けた人的条件整備の充足
 - ・ICT支援員の活用状況と要望

☆○管理職（スクールリーダー）育成のための連携強化

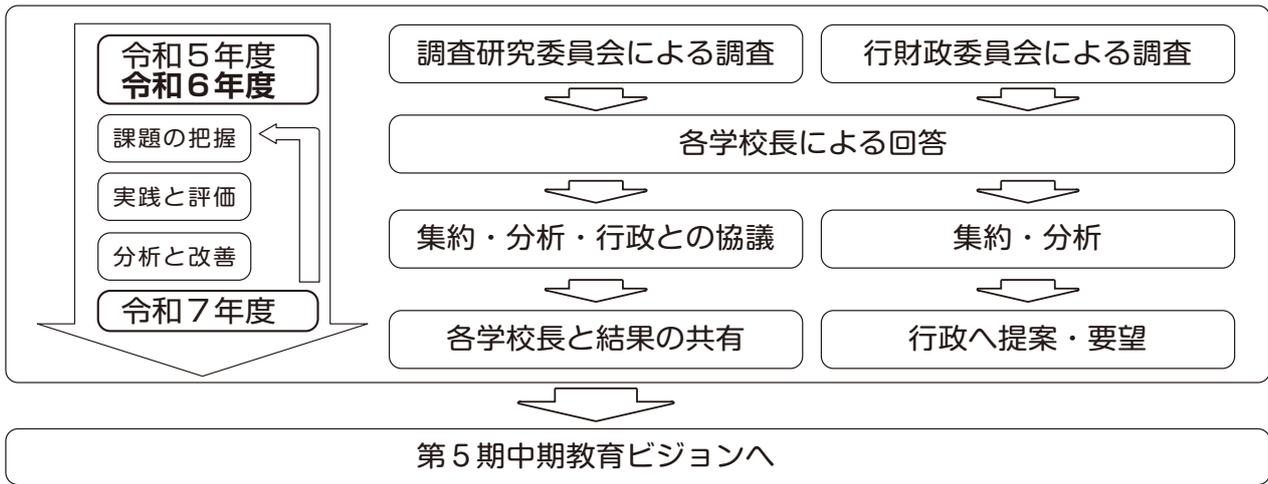
- 教職をめざす人財確保のための教員の魅力発信(大学等)
- 働き方改革に関わる県教委との協働体制の連携強化
- 教職員定数の改善に向けた調査研究
 - ・中3までの35人学級実現に向けた、少人数教育の成果の共有

【視点2（学校の取組）】

（教職員の「人財」育成）

- 教職員の資質・能力向上のための校内研修の充実
 - ・学校の組織力向上のための、OJTによる研修の充実
 - ・ICT活用指導力の向上に向けた研修の充実
- ☆○教職員一人一人との対話に基づくキャリアステージに応じた研修の奨励
 - ・改正「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標」の活用
 - ・個別最適・協働的な教師の学びのための研修機会の確保
- 教師自らの主体的な学びのためのマネジメント
- 専門的な知識や技能を生かすための教育委員会、大学、各種団体との連携
- 学校における働き方改革の推進

☆令和6年度の重点 ○第4期より新規 ●第3期より継続



3 その他

- 全国連合小学校長会、全日本中学校長会、茨城県教育研究会及び茨城県小中学校教頭会等との連携強化
- 教育振興大会の開催と教育の充実に関する世論の喚起
- 子ども支援茨城連絡会（注1）との連携

（注1） 「子ども支援茨城連絡会」とは、教育関係23団体で構成される全国組織「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」の下部組織であり、現在のところ、本県では茨P連、茨城県学校長会、茨教組の三者で構成されている子供を支援する連絡会です。

課題



人を活かして育てる基本
茨城県学校長会 田辺 光 博
副会長（行方市立玉造小学校）

私が教員として「成長できたのは？」「育ててくれたのは？」と自分自身を振り返ったとき、ある上司の顔が浮かんでくる。私が三〇代後半から四〇代前半、中堅教諭として勤務した学校で出会った校長である。

「子供が第一（ぶれない）」、「改革意識が高い」（五年、十年先の学校を考えている）、そして、「口は悪いが、面倒見がいい（飲みにもよく連れて行ってくれた）」校長であった。

校長は、生徒指導主事となった私が立案した計画について、「やり直し」「駄目出し」を繰り返す。悩んで、迷って、考え抜いて、三回目の提出。それでも計画案は真つ赤になって返ってくる。そんなこんなでできあがった実施計画はほぼ完璧である。「うまくいかないはずがない、成果が出ないはずがない。」私は、自信をもってその計画を推進することができた。実践後に

は、笑顔で頷き、大いに褒めてくれた。校長自身からたくさん指導が入っているのにもかかわらず、いかにも私が自力で成し遂げたかのような気持ちにさせてくれた。すると、新たな課題解決に向けたチャレンジ精神が湧き上がってくるのを感じた。

職場での人材育成を進めるうえで、まず、その職員の「強み」を見極め、その「強みを活かした仕事を与える」こと、仕事を与えたら、高いパフォーマンスを発揮しながら職務が遂行できるように「対話」を大事に「フォロー」すること、やり遂げた仕事の成果を「認め、褒める」ことが必要である。そして、自信が

つき、意欲が高まったところで、さらに「ハードルを上げた仕事にチャレンジさせる」こと。これこそが人を活かして育てる基本である。管理職においては、これまで

以上に、職場での人材育成に気構えをもつべきであり、本会が令和五年度に策定した「第四期中期教育ビジョン」においては、次世代を担う「人財」を育成し、新しい時代の学校教育を推進する」ことを重点活動目標とし、その視点として、教職員一人一人との対話に基づくキャリアアステージに応じた研修の奨励や、教師自らの主体的な学びのためのマネジメント等、教職員の「人財」育成を掲げている。

教職員の力量向上には、研修履歴等を活用し、キャリアアステージや教師自らの主体的な学び等に応じた質の高い研修を積み重ねることが大切である。

さらに、これまで以上に確かな学校経営を行うためには、一人一人の教職員が、高いパフォーマンスを発揮することができるよう、職場での日頃の業務における「対話」に基づいた実践的、実質的な教職員の人材育成のマネジメントが基本となる。



市町村教育委員会と学校長会

東茨城郡

城里町教育委員会との連携

東茨城・石塚小
海老根 祐一

城里町学校長会は、小学校五校と中学校二校の七校で構成されている。町教育委員会と密接な連携を図りながら、城里町の学校教育における「教育理念」

「ここで学び ここで育つ」
「大好き城里」
「郷土を愛し、かしこく、やさしく、たくましい、児童生徒の育成」
の実現に向け、学校経営に努めている。

毎月一回開催の定例学校長会並びに研修会では、教育長からの指示・伝達とともに、講話の時間を設け、毎回充実した研修となっている。さらに、事務局長や担当諸課長、関係諸機関から町の施策等に関する情報を得て、教育委員会と一体となって研修や課題解決に努めている。

本年度、本町の施策の中から、主なものを紹介する。

○水泳学習(小学校)

〔温水プール
インストラクター活用事業〕

小学校の体育学習における水泳指導では、町健康増進施設プールを活用するとともに、基本、児童一人一人に対して一人のインストラクターの指導を受けられるようになった。担任教諭とインストラクターとのチームティーチングにより、安全面に配慮した、きめ細かな指導が行われている。

○部活動(中学校)

〔バス運行による連携事業〕

本町には中学校が二つあるが、一つの中学校は、全校生徒八名の小規模校である。そのため、部活動の設置数が限られている。そこで、設置のない部活動を行いたい生徒のために、放課後に毎日、町のバスでもう一方の中学校へ生徒を輸送し、希望する部で活動できるようにした。

これらの事業は、町教育委員会が学校長会と連携して課題解決を模索し、行政執行部との調整を経て、本年度からスタートしたものである。

これからも、城里町の子供たちのために、充実した教育活動を推進していく。

「ここで学び ここで育つ」
大好き城里町」

北茨城市

北茨城市教育委員会と連携した未来を切り拓く人づくり

北茨城・磯原中
滝 人司

北茨城市学校長会は小学校十校、中学校四校の計十五校で構成されている。

北茨城市は、学校教育の目標を、「郷土への愛着と誇りをもち、未来を切り拓く人づくり」として、「『可能性やよさ』を引

き出し、活かし、伸ばす教育を行う」という方針と「心の居場所となる学年・学級づくり」「学力向上」「地域と共に歩む学校づくり」という三つの教育実践を掲げ、学校教育の充実に取り組んでいる。

本市学校長会では、定例学校長会議を毎月開催するほか、必要に応じて臨時学校長会議を開いている。その都度、教育長、学校教育課長の指導助言をいただきながら、本市教育の充実に向けた学校経営の在り方についての協議や、各校の取組についての情報交換等を行っている。

また、本市学校長会と教育委員会は、日頃から、連携を密にし、様々な課題への対応及び解決、安全・安心な環境整備に一体となっており、その一部を紹介する。

一 二学期制の検討・導入

令和四、五年度の二年度、教育委員会と学校長会による「学期制検討委員会」で検討を重ね、「ゆとり」と「活力」を育む学校教育推進のために本年度四月に二学期制が導入された。

二 教育環境整備のための要望と学校支援

毎年、学校長会として、施設やICT等教育機器の整備、各種支援員等の配置・増員等様々な要望を取りまとめ、教育委員会と協議することで、教育委員会による学校支援、教育環境の整備・充実につなげている。

ほかにも、働き方改革の取組、コミュニティ・スクールの取組、体験学習推進、「はつらつ夢プロジェクト」小中一貫教育推進、S・C・S・S・W活用、スクールロイヤー配置、いじめ根絶フォーラム実施など、多くの施策で連携している。

北茨城市学校長会は、次のスローガンを掲げている。「和と信頼に支えられた 学校長会」「率先して実践に取り組む 学校長会」「進んで研修に励む 学校長会」

今後、一人一人の自覚と責任、互いの「和と信頼」を高めるとともに、教育委員会との連携をさらに深め、「郷土への愛着と誇り」をもち、未来を切り拓く人づくりに取り組んでいく。



提言二題

新しい市P連の形を考える

取手市PTA
連絡協議会会長

森田 あい

令和六年度、取手市PTA連絡協議会会長を務めさせていただいております。森田あいと申します。日頃より、各校の校長先生をはじめとする諸先生方には、働き方改革や新学習指導要領と向き合う中、児童・生徒への教育・指導とPTA活動へのご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、この度は学校長会会報への提言という貴重な機会を与えていただき、この場を借りて深く御礼申し上げます。

さて、私は寺原小学校PTAで書記を三年務めた後に会長になり、今年で三期目になります。この五年間でPTAの在り方は大きく変わりました。当たり前であった強制(自動)加入や活動の強制は問題視されるようになり、取手市内でも入会前の意思確認を行い、「子供一人につき役員一回」などのノルマ制を廃止する学校も多くなつてま

いりました。PTAが任意団体であるという本来のあるべき姿に戻るとは大変喜ばしいことですが、学校単位PTA(単P)の改革が進めば進むほど、市P連との間に齟齬が生じていくように感じます。取手市P連は、各校が順番に役員を務める、いわゆる輪番制で役員決めを行っております。また、新型コロナウイルスが五類感染症に移行した昨年からは、ほぼ全ての活動を再スタートしました。一見良いことのように思えますが、このような市P連の体制に、自身の学校が会長校を務めることに不安を覚える単P会長も少なくありません。私には、今の取手市P連に単Pと同じような問題が起こっているように思えてなりません。つまり、単P会長自身の都合や単Pの余力に関わらず役員の順番が回ってくる「役員の強制」、そして、毎年必ず同じような行事を行う「前年踏襲の活動強制」です。もちろん、その活動は、当初は子供たちおよび会員のために企画されたものでありますが、「各校何人参加」などの役員の活動強制によって成り立っていた側面もあり、今の単Pが求める形に合わなくなってきた活動もあるのではないのでしょうか。私は、

今こそ市P連も変わる時であると考えています。一般PTA会員がそうであるように、PTA会長も役員・活動の強制があつてはなりません。近年では市P連から退会する単Pもいる中、可能な限り義務や強制を排除し、「単Pの活動をサポートし、横の繋がりを維持する」という本来の目的を達成できるように、今の時代に合った新しい市P連の形を模索してまいりたいと思います。しかし、改革とは言うは易く行うは難し。活動を安易に縮小・廃止するだけでは、市P連の弱体化を招き、ひいては解散という結果になりかねません。正解がないからこそ、皆様と一緒に慎重な議論を重ね、時間をかけて結論を導き出してまいりたいと思う所存です。

「町+学校・PTA・地域」



境町PTA
連絡協議会会長
半村 忍

茨城県の西に位置する境町において今年度、町のPTA連絡協議会会長を務めることになりました。境町立境小学校PTA顧問の半村忍と申します。PTA役員は今年で六年目になります。日頃より、校長先生をはじめとする先生方、各単位PTA会長をはじめとするPTA関係者の皆様、また、地域の皆様には、PTA活動に対しまして御理解と御協力を賜り、この場をお借りして感謝申し上げます。

また、「子育て支援日本一」を目指した事業では、学校給食費が無料、学生は医療費が二〇歳まで無料、外国人教師が教える先進英語教育が受けられ、小学生英検受験料が無料となっております。ほんの少しだけを紹介しましたが、まだまだ「子育て支援日本一」を目指す事業は沢山あります。詳細は境町のホームページをご覧ください。

新型コロナ感染症が五類に引き下げられ、各学校においては、様々な事業が再開されているところかと思いますが、コロナ前と同じように継続すべき事業なのか、変革のチャンスととらえ「実施しない」「縮小」してもよい事業なのか、議論の余地があります。今までのPTA活動を思い起こしてみても、大きな負担となつていなかったか、本当に子供たちを一番に考えた活動になつていったか、PTA役員六年の経験を踏まえ、私は大胆に転換してよい機会だと思っております。

また、「子育て支援日本一」を目指した事業では、学校給食費が無料、学生は医療費が二〇歳まで無料、外国人教師が教える先進英語教育が受けられ、小学生英検受験料が無料となっております。ほんの少しだけを紹介しましたが、まだまだ「子育て支援日本一」を目指す事業は沢山あります。詳細は境町のホームページをご覧ください。

我が境町は、二万四千人程の小さな町ではありますが、子供たちに対する町の政策は、大都市が実施している政策にも負けていません。「子供たちが安全

に安心して暮らせる町づくり」と称し、児童生徒の通学路へ街路灯を増設し、LED照明を導入、また、防犯カメラも増設しています。地域・学校・PTAが一体となり、危険な道路、真っ暗な通学路があれば、直ぐに町へ要望します。町もスピード感をもつて対応してくれているおかげで、安全で明るい通学路となつていきます。



創意と活力に満ちた 学校経営

生徒の自律性や創造性が
育まれ、笑顔あふれる学
校を目指して

笠間・友部二中
玉淵 智巳

一 はじめに

本校は、シンボルツリーである大ケヤキと、校庭を囲む桜やツツジが美しい、自然豊かな景観の学校である。敷地内には、緑色の桜「御衣黄(ギョイコウ)」や枝垂れ桜があり、地域の方々が観賞に訪れている。草花の美しい恵まれた環境の中で、三七九名の生徒たちは毎日生き生きと過ごしている。

二 本校の現状と課題

多くの生徒が落ち着いた学校生活を送っており、授業や学校行事、部活動に意欲的に取り組んでいる。しかし、真面目に誠実に取り組んではいるものの、自律性・主体性・創造性にやや物足りない面がある。また、欠席が多い生徒や教室に入れない生徒、人間関係の構築が苦手な生徒もいる。

学習面では、授業に集中して臨むことができる反面、自分の考えや意見を自信をもって表現し議論することが苦手な生徒が多い。

そこで、「学力の向上(授業力の向上)」と「自己肯定感の向上」を重点課題として教育活動に力を注いでいる。

三 本年度の学校経営

課題解決に向けて、「自律・尊重・創造をキーワードに、将来を生き抜くことのできる生徒の育成」をスローガンとした。予測困難なこれからの社会を生き抜くためには、一人一人が自律的に主体的に活動できると、また、仲間と協働して課題解決できるようにすることが重要である。授業はもろろんのこと、学校行事や部活動など様々な場面で生徒に決めさせて任せることで、生徒の自己肯定感や自己決定力を高め、さらなる成長へと繋げていきたい。

四 本年度の取組

(一)よくわかる・できる・もつと学びたくなる授業づくり

問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実が求められている。そこで、校内研修会や教科部員会を計画的に実施し、身に付けたい力を明確にするとともに、その方策について協議し全教職員で共通理解を図っている。

課題や見直し、まとめと振り返りの充実、協働的に試行錯誤し、議論し合う場面の設定、「ともにスタイル」の徹底に努めたり、生徒用タブレット端末や電子黒板、デジタル教科書や思考ツール等をフル活用したりして、授業力を高めていきたい。

(二)生徒が「決める・創る」学校生活や学校行事

数年前から、生徒会を中心に校則の見直しが進んでいる。服装や頭髪、靴下や運動靴等のきまりについての議論が活発だ。見直しに当たっては、学級の意見を持ち寄った代表生徒が中心となり何度も話し合いが行われている。生徒たちが「自分事」として真剣に議論している。「よい友二中にするために」というテーマのもと行われた生徒総会も大成功であった。

また、体育祭や合唱コンクールなどの学校行事は、生徒主体の企画・準備・運営により行わ

れている。生徒の手による行事づくりを通して、達成感を味わい、自己肯定感の向上、創造性の育成につなげている。

(三)校内フリースクールの進展

不登校生徒の解消や教室に入れない生徒、人間関係の構築が苦手な生徒の居場所として、校内フリースクール「トモニルーム」を設置した。不登校児童生徒支援加配の教員と笠間市教育委員会から配置された校内フリースクール支援員、全職員で運営している。これは、生徒の教室復帰のみを目的とせず社会的自立を主眼に置いた取組である。

生徒は、登校すると「一日の活動計画」を立て計画に則って生活している。問題集やワークを使った自主学習や教室からの配信によるオンライン授業、教員によるマンツーマン授業などで学びを進めている。また、読書やイラストの制作、楽器演奏やパズルゲームをしたり、教職員、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーとコミュニケーションをとったりするなど思い思いに過ごしている。さらに、フリースクール内の環境づくりや清掃にも意欲的に取り組んでいて微笑ましい。

前年度不登校だった生徒も登校できるようになったり、フリースクール内に新しい友達ができたりするなど、一定の成果が出ている。生徒一人一人が自信をもち、自己肯定感が高まり、規則正しい生活が送れる居場所となるよう支援を続けていきたい。



校則改正についての議論 [生徒総会]

五 おわりに

本年度、「学力の向上(授業力の向上)」と「自己肯定感の向上」に取り組んでいるものの、一朝一夕に高まるものではない。何より重要なのは教職員の共通理解や共通実践、保護者や地域の方々の理解である。同じ目線に立ち、同じ目標に向かって一丸となって取り組むことができる

よう、校長としてリーダーシップを発揮していきたい。
 「よく遊び よく笑い よく学べ エンジョイ友二中！」を合言葉に、笑顔あふれる学校になるよう尽力する。

子供たち一人一人が自分のよさを発揮できる学校づくり

高萩・松岡小
飯沼 幸則

一 はじめに

高萩市の北部に位置している松岡地区は、江戸時代に水戸藩附家老の中山氏が城の整備を行った。城下に武家屋敷町がつけられた。現在でもその姿を残しており、お屋敷通りに面して茅葺寄棟造の武家長屋門が並んでいる。松岡城址の堀や土塀なども再現され、春には、ソメイヨシノやシダレザクラが咲き誇る。

松岡小学校は、その城址の中にあり、今年で創立一五一年目を迎える歴史と伝統のある学校である。現在児童数は二七一名で、普通学級一一学級、特別支援学級二学級で構成されている。

二 本校の現状と課題

児童数は、年々減少しているが、素直で明るく松岡地区に愛

着をもつ児童が多い。ICT機器を活用した学習にも意欲的に取り組み、教職員は、職務にやりがいを感じながら見通しをもつて積極的に業務を遂行している。若手・中堅・ベテランの考えが融合し、実態に応じた教育活動を進めることができていく。課題としては、児童の自主性や自立性、思考力や表現力の育成が挙げられる。

昨年の九月に台風の影響で被災した地区でもあり、防災教育は喫緊の課題でもある。

三 本年度の学校経営

児童が自分のよさを発揮するためには、安心して自分を表現し、互いに認め合うことができ、雰囲気が必要である。本校では、多様性を認め、互いの人権を尊重し、子供たち一人一人が自分のよさを発揮できる学校づくりに努めている。

四 本年度の取組

(一) 多様な個々の状況に応じた豊かな学びの展開と確かな学力を育む教育の推進

- ① 多様な個々の状況に応じた豊かな学びの展開を行うために「松岡小学習スタンダード」を見直している。タブレットを活用したアウトプットの学

習、デジタル教科書の活用、専科教員による指導、対話的な学びなど個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っている。

② 教職員一人一人の授業力の向上を目指す。教職員が自分で自分の授業を知ることから始めるため、「二人授業研究」を行って

いる。自分の授業を記録して、分析して、改善を図る。

〔二人授業研究の流れ〕

- 「記録する」：定点カメラで授業を録画(記録)する。
- 「分析する」：観点を絞り、チェック表に記入し、確認する。
- 「改善を図る」：次時の授業における改善点二点を明確にする。

③ 人権教育の視点による授業実践の実施。学習指導案を作成して授業研究を行う際は、展開の中に「人権教育上の配慮」の項目を設け、指導する上で意識させ、人権感覚を養うようにしている。

- (二) 互いの人権を尊重し一人一人のよさが発揮できる学校経営

① 自己有用感を醸成する「傾聴」と「承認」

授業、集会、朝の会、帰りの会等で担任と児童、児童同士が「傾聴」している。相手の気持ちを察しながら聴いている。この行為は、自分が「受け入れられている」と感じ、安心する。そしてお互いの中に信頼関係が生まれている。

どんな小さなことでも、児童のよさを「承認」していくようにする。児童は、存在を認められると安心する。児童の良いところを学年ごとの掲示板上に書いて、帰りの会で発表したりしている。承認してくれた児童や担任への信頼感が深まっている。全校集会や運動会の練習など、さまざまな場面で拍手が起こる。

② 多様性を認め、互いの人権を尊重した学級経営
 各学級で人権指導資料を活用した学習を実施。人権コーナーの設置。児童主体の「いじめゼロ」フォーラム。ありがたの木の木や人権の本コーナーも設置し、互いの人権を尊重している。

- (三) 地域と連携し安心して学べる学習環境を整える。

① コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動本部の一体的な推進
 家庭・地域と連携し、地域ぐるみで児童を育成している。学習サポート、業間休み、昼休みの児童の見守りわんぱく広場などはキッズ応援隊がサポートしてくれる。

② 地域と連携した災害リスクに応じた防災教育も実施している。

災害発生(洪水)に対して、市役所危機管理課の担当職員とともに教職員の災害時の判断力や指導力を高める研修と会議を実施している。

五 おわりに

今年度も教職員のウェルビー



校内授業研修会

インングを高め、職員間の協働や家庭・地域との連携を図りながら、子供たち一人一人が自分のよさを発揮できる学校づくりに取り組んでいる。

児童・教師ともに伸びることができように、学校経営に邁進していきたい。

**夢と志をもち未来を創る
児童の育成を目指して**

つくば・沼崎小
井上 秀次

一 はじめに

本校は、つくば市の中西部にあり、創立一四九年を迎える。全校児童数は三二二名で、通常学級一三クラス、特別支援学級四クラスで構成されている。豊かな自然に囲まれた学校の周辺では、市の特産農産物の一つである芝の生産も盛んである。また、市内にはJAXAや国土地理院などの研究機関や一般企業も数多くあり、専門家による出前授業や各施設への校外学習、地域人材を活用した自然体験学習等を各学年で実施している。

二 本年度の学校経営

学校経営目標は「夢と志をもち未来を創る児童の育成」すべしとの児童にとってウエルビー

ングな沼崎小」である。また、組織目標を「社会とのつながりを意識した教育活動の推進」と設定した。特に今年度は以下の(一)から(三)を重点とし、教育活動の充実を図る。

(一)キャリア教育の視点を取り入れた学びの充実

(二)探究的な学びの推進

①探究的な学びの推進
昨年度より「つくばの学び研究校」の指定を受け、同一中学校区の四校合同で、探究的な学びを中心とした実践研究に取り組んでいる。今年度は、将来にわたって必要となる「伝え合う力」「認め合う力」「挑戦し続ける力」の育成を目指し、パフォーマンス課題の設定や自由進度学習の導入等の手立てを工夫していく。

②ルールメイキングの充実
様々な立場の人との対話を通して納得解をつくるルールメイキングを通して、児童の自己決定力を育成する。企画委員会が中心となり、一人一人のウエルビーイングの実現を目指した学校スローガンや生活のきまり等の作成に取り組んでいく。

③キャリア教育の推進
昨年度より県教育研修センターの研究協力校として、キャリア教育の研究に取り組んでいる。各分野でのプロの方々から話を聞くオンライン学習や、市内に拠点を置く通販会社による出前授業など、外部人材を積極的に活用し、現在の学びと自己の生活や将来とをつなぐ体験活動の充実を図る。

(二)家庭・地域との連携、協働体制づくり

①学校支援ボランティアの活用
保護者や地域の方々もつ知識や経験を生かし、教育活動の活性化を図る。「できる時に できることを」子供たちのために「の活動スローガンのもと、四月末時点で約三〇名の方々が登録し、教科等の学習支援やクラブ活動でのゲストティーチャー、花壇の環境整備等での協力をいただいている。

②コミュニティ・スクールとの連携
委員の方々が校庭の一部にミニ水田とミニ菜園を

作ってくださるなど、子供たちの体験的な学びを充実させるべくのご協力をいただいている。今年度は広報活動の充実を図り、地域との協働体制の強化につなげていく。

(三)切磋琢磨し協働する教職員集団づくり

①パフォーマンス向上につながる同僚性の構築
二十代の教員が学級担任の約半数を占める中、OJTを中心とした若手教員の育成が急務となっている。本校では教科担任制を一部取り入れたり、学年・学級経営に複数の教員が関わったりするなど、教職員一人一人のパフォーマンスが十分発揮されるチームでの対応を重視し、同僚性の構築を図りながら児童の支援に当たっていく。

②職員研修の充実
研究主任が中心となり、授業づくりやICT活用、コンプライアンス等に関する研修を年間計画に位置付け、ファシリテーターを変えながら実施する。特に、サークル対話形式で悩み相談を行う「仲間づくり研修」

は、若手教員の指導力向上やメンタルヘルス対策の面でも非常に重要であるため、定期的に実施していく。

三 おわりに
子供たちが、自分の夢を叶えるために努力を続けること、そして、周りの人のために行動しようとする志をもつことは、多くの人たちとともに生きる未来社会を作っていく上で重要である。そのような子供たちの育成を目指し、家庭・地域とのパートナーシップの強化を図りながら学校経営に誠心誠意取り組んでいく。



ミニ水田での田植え

みんな仲よし 国境を超えて、互いの違いを認め合う学校を目指して

常総・岡田小
染谷 広美

一 はじめに

本校は、常総市内を南北に流れる鬼怒川の西に位置し、創立一三五年を迎える学校である。また、「写生の歌」と呼ばれた短歌や小説「土」を発表した長塚節、アテネオリンピック男子柔道で金メダリストとなった鈴木桂治を卒業生にもつ。本年度は、児童数三一五名で、通常学級一二クラス、特別支援学級四クラス、通級指導教室一クラス、日本語指導教室(国際学級)三クラスでスタートした。全児童の約三割が外国籍児童であり、フィリピン、ブラジル、スリランカなど、日本を含め、計一カ国の国籍の児童がともに学んでいる。

二 本年度の学校経営

本校の学校教育目標は「自ら学び 心豊かに たくましく 夢をはぐくみ 夢に近づいために」である。また、組織目標を「豊かな人間関係づくりが

できる 児童の育成」とし、児童それぞれがもつ文化や宗教など、互いの違いを認め合える学校づくりをSDGsの視点から捉え、取り組んでいる。

(一) SDGsの視点

「質の高い教育をみんなに」

SDGsの目標4「あらゆる人たちに質の高い教育を受けられる環境を用意し、生涯にわたって学びを深めてもらうこと」で、持続可能な社会の実現につながることをねらいとするにあたる教育が、「個に応じた日本語指導教室(国際学級)の充実」である。外国籍児童への日本語初期指導体制の整備による教育の充実を図るため、国際学級は「東南アジア系レベル1」、「東南アジア系レベル2」、「南米系」の三つの学級がある。児童の通級にあたっては、児童一人一人の日本語指導の要・不要について、国際学級通級会議を行い、通常学級や国際学級の教員、管理職とで一人ずつ検討し、保護者の要望を踏まえた上で、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細やかな指導ができる時間割の編成を行っている。また、常総市から配置されてい

(二) SDGsの視点

「平和と公正をすべての人に」

SDGsの目標16「一人一人が相手との違いを受け入れること。世界には様々な人種の人が暮らし、多様な文化や価値観があふれている。『そういう考えもあるんだ』と受け入れる力も平和な社会には必要である」にあたる教育が「人権教育の充実」・「心の教育の充実」・「特別活動の充実」である。

① 人権教育の充実

「人権教育の充実」では、違いを認め、互いに助け合える共生を目指した温かい学級・学年経営を基盤とし、いじめ

や差別を許さない態度と思いやる心を育成している。また、児童の自己肯定感の育成を目的とし、すべての児童を大切にしたい教員の声かけを毎日行っている。

② 心の教育の充実

「心の教育の充実」では、「道徳」において、主体的に学ぶための課題の明確化や振り返りの視点を工夫した授業を行っている。また、「議論する道徳」において、対話的に学ぶためペアやグループなどの交流活動の工夫やICTの効果的な活用を行っている。

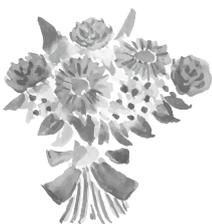
③ 特別活動の充実

「特別活動の充実」では、「ふれあい遊び」において、高学年児童が考えた遊びを通して異学年交流を行っている。縦割り班で活動する中で、国籍を超えて一緒に遊び、高学年が下学年を手助けし、下学年が高学年を慕う姿が自然に育まれている。また、「六年生を送る会」では、在校生によって飾られた体育館で、全児童によるクイズ大会、下学年による心をこめたカードやお花のプレゼント、六年生による

お礼の合唱や合奏など楽しい時間を過ごした。六年生を送る会の中で、六年生代表児童は、「岡田小学校のよいところは、たくさんの方の国の人に関わり、文化の違いを超えて、思いやり支え合うことができるところです。」との言葉を語った。

三 おわりに

本校の学校経営は、SDGsの目標10「人や国の不平等をなくそう」や目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながっていくものと考えている。入学したときから国籍関係なく一緒に学び遊んでいる子供たち。授業で別々になるのは、それぞれのニーズに応じた授業を受けるためであると理解している。これからも、国境を超えて互いの違いを認め合う学校を目指し、「この学校のよさは、みんな仲がよいところ」と笑顔で話す子供たちを、保護者、地域とともに育てていきたい。



創意と活力に満ちた 学校経営

新会員の抱負

中央

水戸市
笠間市
ひたちなか市
常陸大宮市
那珂市
小美玉市
東茨城郡
那珂郡
久慈郡



水戸・新莊小
関谷 隆徳

明るく、元気のよい子供たちとそして地域の方々々と気持ちのよいあいさつを交わし一日をスタートできることに働きがいを感じながら職務にあたっております。素直な子供たちの更なる成長のため「自分で考えて行動する」を合い言葉に職員一丸となって子供が輝ける学校づくりに努めてまいります。



水戸・寿小
植松 陽子

キーワードは「笑顔」。子供たち一人一人を笑顔で迎え、笑顔で送り出すことを、毎日続けていきたいと思っています。今子供たちと一緒に、「笑顔で」「自分から」あいさつすることに取り組んでいます。自分から心を開き、笑顔であなただけを大切に思っていることを伝えることができるあいさつに、私も元気をもらっています。



水戸・柳河小
庄司 敏子

今年度から、水戸市小規模特認校として、英語教育を特色として推進し、市内全域から入学が可能となった柳河小学校。多くの魅力ある本校に赴任できた喜びとともに、その職責の重さを実感しています。地域、保護者、学校が三位一体となって、さらに魅力ある学校づくりのため、精一杯尽力してまいります。



水戸・河和田小
大谷 淳

樹齢一〇〇年を超える大銀杏が見守る、歴史と伝統のある河和田小学校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しています。教育目標である「他とよりよいかかわり合いながら、自分づくりを進める、心豊かな子の育成」の実現に向け、先生方や保護者、地域の方とともに全力で取り組んでまいります。



水戸・見川小
関口 一治

本校は、本年度、創立一五〇年・開校六〇年を迎える、たいへん地域に愛されている学校です。目指す学校像は「安心・安全で信頼される学校」「地域とともにある学校」「人権と多様性を尊重する学校」。五三九人の児童をど真ん中に据え、常によりよく変わり続ける学校でありたいです。



水戸・梅が丘小
木野内 喜久恵

「和顔施」子供たちや保護者、教職員の話に丁寧に耳を傾け、いつも笑顔で接することを忘れずに、あたたかな学校づくりを目指してまいります。あたたかな学校風土の中で、子供、教職員それぞれが、「わたしらしく」「個性を伸ばし、「わたしらしく」過ごすことができる環境を整えられるよう、校長として努力してまいります。



水戸・赤塚小
川又 恵美

「おはようございます」毎朝、子供たちの明るく元気な声に、こちらがたくさんの元気をもらって一日がスタート。愛情深く温かい保護者や地域の方々々に支えられていることに感謝しながら、一八七人の児童が「元気で」「笑顔あふれる」学校生活を送れるよう、職員一丸となって全力で取り組んでいきます。



水戸・堀原小
萩原 知樹

創立四〇年を迎える堀原小学校に赴任し、素直な児童と熱心な職員と出会い、喜びと責任を痛感しています。二六五名の児童が教育目標にある「互いに学び合い、心豊かにたくましい児童」として未来で活躍できるよう、職員・保護者・地域と連携し、よりよい学校づくりに努めてまいります。



水戸・下大野小
鈴木 浩志

グラウンドの向こうから、ダイ
ダラボウがいつも子供たちを見
守っています。「あかるくて あ
たたかくて あんしんできる」学
校を目指し、ICT活用等、進化
を続ける特色と、江戸時代から伝
わる「大野みろく囃子」の伝統継承
を両輪に、教職員一同スクラムを
組んで児童一人一人の「成長ある
学び」を追究してまいります。



水戸・稲荷第一小
桑名 実

純粹で、笑顔が輝く児童と休み
時間等で交流できること、保護者
や地域の皆様に温かく見守ってい
ただけることに感謝する日々で
す。先生方も一生懸命に児童と向
き合っています。すべてを支える
ために微力ながら精一杯取り組み
ます。児童や教職員が稲荷一小で
過ごせてよかったと思えるような
学校を目指します。



水戸・稲荷第二小
田山 善堂

明るく元気な児童、協力的な保
護者や地域の方、子供のために熱
心な教職員に恵まれ、本校に勤務
できる喜びと職責を実感しており
ます。「役に立つ喜びを知る子」
の育成という教育目標の達成のた
め、教職員と地域・保護者が一丸
となつて、児童が自信をもって生
活できる学校づくりに全力で取り
組んでまいります。



水戸・鯉淵小
濱谷 一正

創立一五二二年の歴史と伝統を
誇る鯉淵小学校で勤務すること
ができる喜びと職責の重さを感じ
ております。「子供、職員、保
護者、地域が笑顔でつながる学
校づくり」を目指し、たくさんの
皆様からご協力いただきなが
ら、職員一丸となつて「笑顔・認
め合う・挑戦」をキーワードに教
育活動に取り組んでまいります。



水戸・赤塚中
石川 聡

生徒会が中心となつて「赤中プ
ライド2024」自主時立了」を
掲げ、自分たちの手でよりよい学
校をつくろうとする生徒たちの姿
に、赤塚中学校に勤務できる喜び
と責任の重さを感じています。明
るく誠実な教職員や、優しく見
守つてくださる保護者や地域の皆
様と、生徒の「自己実現」に全力で
取り組んでまいります。



水戸・石川中
小林 克行

二二九名の素直で前向きな生徒
たち、熱意あふれる教職員、協力
的な保護者や地域の方々に囲ま
れ、石川中学校に勤務できる喜び
とともに、職責の重さを実感して
いる毎日です。「明るく・元気に・
笑顔で・一生懸命を合い言葉に、
互いに高め合う生徒の育成を目指
して、教職員一丸となり、全力で
取り組んでまいります。



水戸・国田義務
森田 理恵子

一年生の可愛らしい歌声に混
じつて、運動会の練習をする九年
生の掛け声が聞こえる。義務教育
学校ならではの幸せな時間です。
本校では、少人数の強みを生か
し、一人一人のよさを引き出し、
伸ばす教育を実践しています。熱
心な教職員、協力的な地域の方々
と共に、全員がよさを生かし、成
長できる学校を創ってまいります。



笠間・岩間第一小
結解 一憲

創立一五一年を迎える歴史と
伝統ある岩間第一小学校に勤務
できる喜びとともにその職責の
重さを感じる毎日です。
本校の教育目標である「自ら
学び自ら考え 心豊かに人と関
わることのできる たくましい
児童の育成」の実現に向け、教
職員、保護者、地域とともに精
一杯取り組んでまいります。



笠間・岩間第二小
石井 富美代

「いわまで育てる、いわまで育
つ」を合い言葉に、学校と家庭、
地域が協働して、「ふるさと い
わまを愛する子」を育てている素
敵な学校です。この豊かな環境を
生かしながら、子供一人一人の生
き生きとした前向きな学びを教職
員が温かく伴走し、その成長を共
に喜ぶ学校づくりに努めてまいり
ます。



ひたちなか・三反田小
草野 敦子

創立して一五一年、豊かな自然
と、地域の方々の深い愛情に見守
られてきた三反田小学校に勤務で
きる喜びと、責任の重さを日々感
じております。
これまで受け継がれてきたよき
伝統・校風を生かしながら、「明
日が待たれる、魅力のある学校づ
くり」に、チーム三反田で取り組
んでまいります。



ひたちなか・市毛小
岩城 亜紀子

創立八三年の歴史と伝統ある市毛小学校に勤務できることへの感謝の気持ちとともに職責の重さを実感しております。

「つしうけんめい 国」からを合わせる 「国なきな市毛つ子」を合い言葉として、一人一人を大切に、教職員・保護者・地域の方々と共に、笑顔あふれる学校づくりに取り組んでまいります。



ひたちなか・高野小
長山 武司

歴史と伝統のある高野小学校で、六二九名の元気あふれる子供たちと頼もしい教職員、温かく応援してくださる保護者や地域の皆様に支えられ教育活動を進めています。

新しい風をいかに吹かせるかを念頭に二人一人に活躍の実感と笑顔がある学校の実現に向けて取り組んでまいります。



ひたちなか・勝田第三中
川上 徹行

本校は、「至誠 勤勉 協和」の校訓を掲げ、創立七八年を迎える、地域に根差した学校です。予測困難なこれからの社会を、したたかにかつ、しなやかに生き抜く生徒を目指し、「自律・尊重・創造」をキーワードに、保護者、地域の方々等の援助を生かして、地域の「コミュニティ総がかり」で育成に取り組んでまいります。

何事にも真剣に取り組み、豊かな感性をもつ生徒、生徒の成長と幸せを第一に考える教職員、協力的な保護者、地域の活性化のために活動する地域の方々に支えられ、田彦中学校に勤務できる喜びを感じています。



ひたちなか・前渡小
菊池 雅明

素直で優しい児童、前向きに取り組む教職員、温かく応援してくださる保護者や地域の方々と一緒に学校づくりを進められることに、喜びと職責の重さを感じております。

笑顔と活気あふれる学校を目指し、児童も教職員もそれぞれの強みや長所を発揮できるように、全力で取り組んでまいります。



ひたちなか・那珂湊第二小
鎮目 真実

創立二二二年を誇る、歴史と伝統のある那珂湊第二小学校は、地域の宝物です。保護者の皆様の強固なチームワークと、温かく協力的な四つの自治会に支えられています。熱意ある教職員と共に「チャレンジ！やさしさと勇気をもって」を教育キーワードに、「浜っ子」の挑戦を、全力で支えてまいります。

「笑顔にあふれ、信頼と活気に満ちた学校」をつくるため、全力で取り組んでまいります。



ひたちなか・田彦中
宮本 賢一

常陸大宮市立山方小学校は、久慈川と四方を山々に囲まれた自然豊かな場所に位置しています。地域の学校四校と分校が統合してできた学校ですが、二〇年経ち児童数は現在七四名。地域の活性化のために、元気な子供たちの声を、どんどん届けてまいります。仲間づくりを目標に掲げ、精一杯取り組んでまいります。

素直な子供たちの笑顔と温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられながら、山方南小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「笑顔と輝きのある学校」自分が好き みんなが好き 学校が好き」をモットーに、温かく、そして熱い気持ちをもった児童の育成を目指し、全力で取り組んでいきます。



常陸大宮・大宮北小
澤島 宏子

明るく素直な子供たちと温かい保護者や地域の方々に支えられて、自然豊かな大宮北小学校で子供たちの可能性を伸ばす教育活動に携わることができると喜びと職責の重さを感じております。

常陸大宮市立山方小学校は、久慈川と四方を山々に囲まれた自然豊かな場所に位置しています。地域の学校四校と分校が統合してできた学校ですが、二〇年経ち児童数は現在七四名。地域の活性化のために、元気な子供たちの声を、どんどん届けてまいります。仲間づくりを目標に掲げ、精一杯取り組んでまいります。

素直な子供たちの笑顔と温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられながら、山方南小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「笑顔と輝きのある学校」自分が好き みんなが好き 学校が好き」をモットーに、温かく、そして熱い気持ちをもった児童の育成を目指し、全力で取り組んでいきます。



常陸大宮・山方小
菊池 恵子

常陸大宮市立山方小学校は、久慈川と四方を山々に囲まれた自然豊かな場所に位置しています。地域の学校四校と分校が統合してできた学校ですが、二〇年経ち児童数は現在七四名。地域の活性化のために、元気な子供たちの声を、どんどん届けてまいります。仲間づくりを目標に掲げ、精一杯取り組んでまいります。

素直な子供たちの笑顔と温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられながら、山方南小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「笑顔と輝きのある学校」自分が好き みんなが好き 学校が好き」をモットーに、温かく、そして熱い気持ちをもった児童の育成を目指し、全力で取り組んでいきます。



常陸大宮・山方南小
梶山 啓

素直な子供たちの笑顔と温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられながら、山方南小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「笑顔と輝きのある学校」自分が好き みんなが好き 学校が好き」をモットーに、温かく、そして熱い気持ちをもった児童の育成を目指し、全力で取り組んでいきます。

常陸大宮市立山方小学校は、久慈川と四方を山々に囲まれた自然豊かな場所に位置しています。地域の学校四校と分校が統合してできた学校ですが、二〇年経ち児童数は現在七四名。地域の活性化のために、元気な子供たちの声を、どんどん届けてまいります。仲間づくりを目標に掲げ、精一杯取り組んでまいります。

素直な子供たちの笑顔と温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられながら、山方南小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「笑顔と輝きのある学校」自分が好き みんなが好き 学校が好き」をモットーに、温かく、そして熱い気持ちをもった児童の育成を目指し、全力で取り組んでいきます。



那珂・額田小
檜山 ひろみ

額田小に再び勤務できる喜びと校長としての重責を日々感じております。「田緒も深い城の跡」で始まる校歌のとおり、本校は額田城跡近くにある創立一五一年の歴史ある学校です。地域から大切にされてきた額田の宝である子供たちを、校庭のもちの木のようにしっかりと根をはり、全力で子供たちを育ててまいります。

素直な子供たちの笑顔と温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられながら、山方南小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「笑顔と輝きのある学校」自分が好き みんなが好き 学校が好き」をモットーに、温かく、そして熱い気持ちをもった児童の育成を目指し、全力で取り組んでいきます。



那珂・菅谷東小
中根 紀子

今年度は、那珂市独自の小中一貫教育十年の節目の年です。菅谷小・第四中と連携した学園の特色を生かしつつ、菅谷東小ならではの教育活動を充実させることに全力で取り組みます。子供たちが学びたくなる、教職員が働きたくなる、地域や保護者が応援したくなる、そんな笑顔でいっぱい为学校づくりを目指します。



那珂・五台小
臼井 英成

青少年の健全育成に努めた政治家「根本正先生」の生誕の地にある五台小学校に勤務できる喜びとともに、その職責の重さを実感しています。情熱あふれる教職員、温かく支えてくださる保護者や地域の方々と共に、「子供たちの明日の笑顔のために」を合い言葉に創造的な学校づくりに尽力いたします。



那珂・芳野小
磯邊 栄子

素直で元気あふれる子供たち、協働意欲あふれる教職員、子供たちへの愛情あふれる保護者や地域の方々に囲まれ、伝統ある芳野小学校で勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「主体的に学び、よさを認め合う安心安全な学校」を目指し、チーム芳野小で精一杯取り組んでまいります。



那珂・第二中
朝比奈 佐智代

以前に勤務していた思い出深く、大好きな那珂二中に校長として赴任することができ、嬉しい限りです。地域の方や保護者、卒業生の力を借りながら、全職員で「心豊かにたくましく自ら学ぶ生徒」の育成に努めてまいります。そして、先生方が笑顔で仲良く、生徒たちが明日また来たくなる学校づくりに邁進いたします。



小美玉・竹原小
松代 由美

教職員と児童、そして保護者や地域の方々が丸となり、素晴らしい教育環境を実現している竹原小学校に勤務できることに大きな喜びを感じるとともに、職責の重さを実感しております。「明るく元気に たくましく」の校訓のもと、児童一人一人の笑顔が輝く学校を目指して、全力で取り組んでまいります。



小美玉・納場小
三輪 輝子

明るく素直な児童、仕事に熱心に取り組む職員、協力的な保護者や地域の方々に支えられながら本校に勤務できる喜びとともに、校長としての職責の重さを日々感じております。職員、保護者、地域の方々と連携し、子供たちの「笑顔」がたくさん見られる、魅力ある学校づくりに努めてまいります。



東茨城・青葉小
鈴木 弘毅

笑顔が素敵な明るく元気な子供たち。学校を全力で支え、応援してくれる保護者・地域の皆様。そして熱意あふれる教職員。この素晴らしい出会いに感謝するとともに、職責の重さを痛感しています。今年度は開校一〇周年の記念の年です。子供たちが主役の学校づくりを目指し、全力で取り組んでまいります。



東茨城・葵小
藤井 とし子

本校の校歌には「よく見てごらん 君はとつくに 愛に包まれて いる」という一節があります。家庭や地域の宝である子供たちが、わくわく学び、にこにこ帰ることができるよう、「チーム葵」で取り組んでいます。子供と向き合う時間と働きがいと向き合い、一人一人を大切に、児童が主体となる学校づくりに尽力いたします。



東茨城・青葉中
林 真敏

昨年度、創立一〇年を迎え、更にレベルアップする青葉中に勤務できることに喜びを感じています。「夢に向かって力強く歩んで行く生徒の育成」を目指し、二四八名の生徒と二三名の教職員と共に、成長していきたいと思います。「可能性は心がけ次第で無限大」精一杯がんばります。



東茨城・七会小
小林 英典

「花山丘の花園に 飛び立つ小鳥の羽のように」と校歌に歌われる自然豊かな本校。純粋で笑顔が輝く地域の宝物である子供たち、温かく協力的な保護者や地域の方々に、常に前向きな教職員に囲まれ、「今日も来てよかった、明日も来よう」と思える学校づくりに小規模校のよさを生かし、子供の可能性を信じ尽力します。



東茨城・桂中
柳橋 輝広

毎日、生徒たちの気持ちのよい挨拶で一日のスタートをきることができるとともに、校長として地域の大切な「宝物」を預かっているという責任の重さを感じています。今年度の生徒数は八一名。一人一人が輝く魅力ある学校を目指し、保護者や桂の地域の方々とともに、全職員一丸となって取り組んでまいります。



那珂郡・東海南中
正木 啓道

素直な生徒、熱意あふれる教職員、温かく協力的な保護者・地域の方々に支えられ勤務できる喜びと、職責の重さを感じております。「笑顔、自律、協働、挑戦」のもと、恵まれた教育環境を活用し、「生徒を起点とした学校づくり、よさと可能性を引き出す教育」に全職員一丸となって取り組んでまいります。



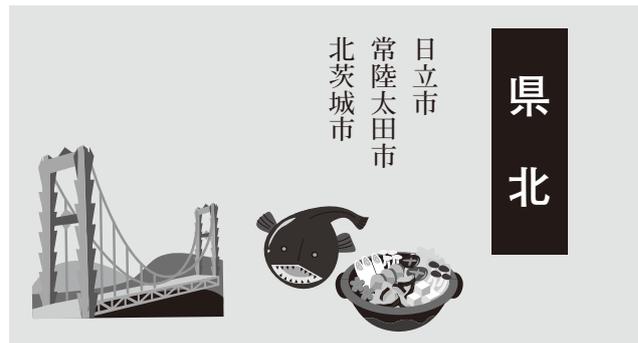
那珂郡・中丸小
木村 智恵

中丸小学校は、東海村の中心部に位置し、周囲には、村文化センター、村体育館、村プール、歴史と未来の交流館など、文化・芸術、スポーツなどに身近に親しむことができる恵まれた環境にあります。その環境をいかし、六四二人の児童と約五〇人の教職員とともに「わくわく」いっぱいの学校づくりを行ってまいります。



久慈・南中
飯村 高志

南中学校は、素直で明るい生徒たち、協力的で熱意のある保護者の方々、情熱と才能あふれる教職員が一丸となって教育活動に取り組める素晴らしい学校です。目指す生徒の姿「向上・感謝・決意・貢献」を大切にし、「生徒が主役、一人一人が輝き、笑顔あふれる学校づくり」に全力で取り組んでまいります。



県北

日立市
常陸太田市
北茨城市



日立・中小路小
齊藤 貴司

中小路小学校に赴任して、毎日児童や教職員から元気をもらっています。本校の児童は素直で明るく、教職員は和やかで活気もあります。さらに、保護者や地域の方々がとても協力的で温かな雰囲気になります。また、保護者や地域の方々がとても協力的で温かな雰囲気が包まれています。このような素敵な学校に赴任できたことに感謝するとともに、恩返しができるように日々精進してまいります。



日立・諏訪小
館 美穂子

素直な子供たちの笑顔、情熱あふれる教職員、温かく協力的な保護者や地域の方々に支えられ、本校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しています。
諏訪小学校の「すまいる」、「わくわく」をキーワードに、子供も教職員も笑顔にあふれ、学ぶ喜びや楽しさが実感できる学校づくりに取り組んでまいります。



日立・滑川小
渡部 美香

二七七名の明るく元気な子供たち、活力あふれる教職員、温かな保護者・地域の方々に支えられ、滑川小学校に勤務できることに喜びと職責の重さを感じております。本校の教育目標である「豊かな心を持ち、自ら学び考え、たくましく生きる児童の育成」を目指し、教職員一丸となって全力で取り組んでまいります。



日立・大久保中
小柳 隆弘

明るい生徒、熱意ある教職員、協力的な保護者・地域の皆様との出会いに感謝しています。「互いに敬意を払い、試行錯誤を支え、共感する」を合い言葉に、生徒にとっては安心して学べる学校、教師にとってはチームで成長できる学校、保護者・地域の皆様にとっては応援したくなる学校の実現に向けて努力してまいります。



日立・豊浦中
金澤 勝也

豊かな自然環境の中、明るく伸び伸びと活動する生徒たち、熱意のある教職員、温かな保護者・地域の方々に支えられた豊浦中学校に勤務できる喜びと職責の重さを日々感じています。
生徒一人一人が自分を見つめ、目標に向かって努力し、成長を感じられるよう、全教職員で取り組んでまいります。



日立・滑川中
根本 伸一

「あつく」「あたたかく」「みんな」をモットーに、熱意あふれる教職員と共に生徒一人一人の居場所の確保に尽力する所存です。そして、「誰もがウェルビーイングを実現できる学校」を目指し、生徒、保護者、地域の方々、教職員の全てが幸せを感じられる学校づくりに全力で取り組んでまいります。



北茨城・中妻小
小菅 瑞彦

保護者と地域に温かく見守られ、明るく素直に育った子供たちが通う中妻小学校に勤務できる喜びと責任を感じております。

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな心身」の育成は全て、「児童一人一人のよさを認め、伸ばす」ことにつながります。中妻小でよかったと子供たちが思えるよう、全職員で尽力します。



常陸太田・里美小中
坏 聡美

平成二六年に施設一体型小・中連携校として教職員全員が県内で初めてとなる小・中学校兼務の人事発令を受けた学校です。九年間を見通した学校づくりができる喜びとともに職責の重さを実感しております。今年は新たにコミュニケーション・スクールとして地域と連携し、九二名の子供を大切に育ててまいります。

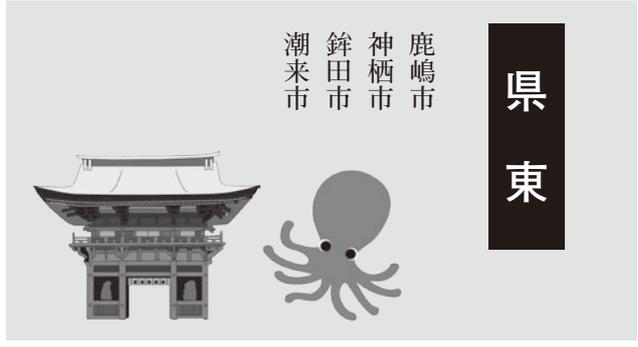


北茨城・華川小
埴 寿昭

本校は豊かな自然に囲まれ、窓を開けると川のせせらぎと小鳥のさえずりが響いてきます。素直な子供たちと協力的な保護者や地域の方に支えられ、華川小学校に勤務できる喜びを感じています。「子供一人一人が生き生きと輝く学校づくり」を目指し、家庭や地域と連携し、全職員一丸となって取り組んでまいります。

県東

鹿嶋市
神栖市
鉦田市
潮来市



鹿嶋・豊郷小
鹿間 寿枝

本校は歴史と伝統のある地域力の高い、地域とともにある学校です。素直で元気な子供たちがワクワクしながら登校し、豊かに学び、思いやりの気持ちと笑顔がつながり、その笑顔が職員・家庭・地域に広がる、ウェル・ビーイングな学校づくりに「チーム豊郷」で邁進します。
すべては子供たちのために



鹿嶋・中野東小
大内 晃夫

学校運営協議会制度の推進・定着により、本当の意味で地域との連携が求められている。そこで、「できる人が、できるときに、できることを」を合い言葉に、教職員・協議会委員・地域人材・公民館、そして児童・保護者と心を合わせ、「地域とともにある学校」コミュニティ・スクールへの転換に力を注いでいきたい。



神栖・波崎小
浅沼 博

平成七年に初任者として赴任したこの学校に戻ってまいりました。家庭や地域から愛され親しまれている本校に勤務できる喜びをかみしめております。謙虚・誠実・感謝の気持ちや態度で「自ら学び進んで行動する心豊かなたくましい児童の育成」を目指し、笑顔を絶やさず全力で取り組んでまいります。



神栖・柳川小
吾妻 俊昭

伝統ある柳川小学校に赴任できたことを嬉しく思うとともに、責任の重さを日々実感しています。全校児童九五名の小規模校の良さを生かし、児童との関わりを大切にしながら笑顔あふれる学校づくりを目指しています。ともに働く先生方と協力し、教育の質を高め、児童の成長を促す環境づくりに努めます。



神栖・神栖第三中
富田 功

屋上に上がると鹿島臨海工業地帯の高い煙突や海岸線に立ち並ぶ電力風車、学校周辺の基盤の目のように整備された道路が一望できます。生徒たちは街の勢い同様明るく元気で、職員もやる気に満ち溢れ、毎日楽しく勤務させていただいています。地域と共にある生徒主体の活力ある学校づくりに尽力してまいります。



神栖・波崎第三中
菊巒 隆博

生徒たちの純朴な笑顔と温かい雰囲気に含まれながら、波崎三中に勤務できる喜びと職責の重さを実感する日々です。明るく素直な生徒、温かく迎えてくださる保護者や地域の皆様、活気ある職員と力を合わせて、「自ら学び、心豊かで、活力に満ちた生徒の育成」に向け、初心を忘れず全力で取り組む所存です。



神栖・波崎第四中
高倉 紀行

「脈打つ鼓動を 時計塔が高らかに刻む」。校歌に歌われているシンボル、時計塔が二二八名の生徒と活気に満ちあふれた教職員を見守っています。
「学び合う・認め合う・貢献し合う」を合い言葉に、地域に根ざし地域から信頼される学校づくり、地域に愛され応援される生徒の育成を目指してまいります。



鉦田・旭北小
岡田 奈奈

美しい自然環境に恵まれた鉦田市で、再び勤務できる喜びと校長としての責任の重さを感じております。二年後に統合を経験する本校。全児童六八名の小さな学校ならではのよさを生かして、児童にとって価値ある経験ができるように、教職員、保護者や地域の皆様の協力を得て、精一杯、教育活動に取り組んでまいります。



鉦田・鉦田北中
本城 知子

素直で優しい生徒たち、生徒と共に考え共に歩もうとする教職員、温かく協力的な保護者や地域の皆様に支えられ、鉦田北中学校に勤務できることに日々、感謝と幸せを感じております。「自律・尊重・貢献」誇れる自分 誇れる仲間 笑顔あふれる学校」を実現できるような教職員一丸となつて取り組んでまいります。



潮来・延方小
高岡 成郎

「父の実家の屋号は延方屋です。勝手に親近感をもつてます。」PTA総会での挨拶は、ややうけでした。小堀進と村山密という、県を代表する芸術家を生んだ地に建つ本校で、小堀進画伯の真作の下で執務できる喜びを感じています。保護者、地域、職員と協力して、「やさしく、かしこく、たくましい」児童の育成を目指します。



潮来・牛堀中
小松崎 弘樹

素直で前向きな生徒たちと熱意あふれる先生方、協力的で明るい保護者の方々に囲まれて牛堀中学校に勤務できる喜びと、職責の重さを実感しています。
全校生徒が一〇四名という小規模校のよさを生かし、「より生徒主体の、より活力ある学校」を目指しチーム牛堀一丸となって尽力してまいります。



土浦・中村小
田上 秀之

創立七六年の歴史と伝統ある中村小学校に勤務できることへの感謝の気持ちとともに、職責の重さを実感しております。
「自他共に尊重し合える心を育む教育活動の展開」を目指し、協働的な学びや特別活動等、仲間と関わり合う体験をとおして、たくましく生きる児童の育成に全力で取り組んでまいります。



土浦・右舩小
諏訪 智章

二五九名の明るく素直な子供たち、熱意あふれる教職員、協力的な保護者や地域の方々に囲まれて、右舩小学校に勤務できる喜びと職責の重さを日々実感しております。「輝け、右舩の子供たち」を合い言葉に、全ての子供の可能性を引き出す学校を目指して、全教職員一丸となり全力で取り組んでまいります。



土浦・土浦第六中
廣瀬 光幸

創立四三年目を迎える土浦六中へ赴任した喜びを日々感じていきます。なぜなら、私自身が土浦六中の第一回卒業生だからです。
生徒たちの古き先輩として、情熱あふれる、頼りになる教職員と温かく協力してくださる保護者や地域の方々とともに、「すべての子供たちの幸せ」のために、全力で取り組んでまいります。



石岡・杉並小
須加野 征博

明るく素直な児童、熱意あふれる教職員、協力的で熱心な保護者、いつも温かく支えてくださる地域の方々との出会いに感謝するとともに、その責任の重さを感じております。

自ら考え、判断し、責任を持って取り組むことができる子供たちの育成を目指し、教職員一丸となつて取り組んでまいります。



龍ヶ崎・久保台小
黒瀧 鉄夫

創立二八年目になる本校は、素直で明るい子供たちが元気に生活をし、地域の方々からも愛されております。以前勤務した本校に再び勤務できる喜びと、その重責を感じております。「あたたかく笑顔あふれる学校」を目指し、やる気に満ちた教職員、温かく協力的な保護者と共に全力で取り組んでまいります。



龍ヶ崎・長山小
稲葉 恭子

「先生おはようございます」子供たちの元気な挨拶で、長山小学校の一日が始まります。本校は、保護者はもちろん、防犯ボランティア、おやじの会、本の会等の皆様に支えられている、地域と共にある学校です。「児童・職員・保護者・地域に笑顔あふれる学校」となるよう精一杯取り組んでまいります。



取手・藤代小
吉葉 繁雄

のどかな田園地帯の中にある藤代小学校で、素直な子供たちと協力的な保護者や地域の方たちに支えられながら充実した毎日を送っています。伝統ある本校に勤務できる喜びを実感しております。「子供は教師の鏡である」を合い言葉に、教職員一同が一致団結し、魅力ある学校づくりを目指して、努力してまいります。



取手・六郷小
横田 博江

創立一五一年目を迎える歴史と伝統ある六郷小学校。本校に勤務できる喜びとともに校長としての職責の重さを日々感じております。明るく素直な子供たちは、地域の宝として大切に育まれております。教職員、保護者、地域の皆様と協働し、「児童が主役」の笑顔あふれる学校づくりに全力で取り組んでまいります。



取手・取手東小
村田 健一

利根川のほとりに位置する本校は、市内三小学校の統合後、今年で創立二〇年を迎える全児童四二〇名の学校です。夢と目標に向かって、「成りたい自分に成る」児童を育てる。教師は児童を扶（たす）けるといふ目標のもと、「挑戦と努力」を合い言葉に、全職員一丸となって児童の成長を支援しています。



牛久・中根小
河村 博行

全児童数、一〇〇〇人を超える大規模校ですが、「誰一人取り残すことなく、一人残らず幸せにする」という覚悟をもって、学校経営にあたつてまいります。また、子供の姿を見て、子供の声を聴いて、子供の思いを想像できる教職員集団を目指し、子供たち一人一人のよさや可能性を見だし伸ばす学校づくりを進めてまいります。



牛久・牛久三中
木田 正広

初心を忘れず、謙虚な姿勢で、本校に関わる全ての人々が「幸せ」を感じる学校経営に努めてまいります。覚悟をもって、生徒には「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健全な身体」を育み、同じ職場で働く教職員には、日頃のコミュニケーションを重視し、所属感を高めることで信頼される学校づくりに邁進いたします。



牛久・おくの義務
吉田 正人

優しく、思いやりのある子供たち、熱意ある教職員、協力的な地域や保護者の皆様に巡り合えた喜びを感じるとともに、おくの義務教育学校に勤務する重責をひしひしと感じております。今後も「安心」と「笑顔」がある学校づくりのため、すべての教職員が一丸となつて取り組んでまいります。



つくば・桜南小
奥沢 志乃

創立七五年の歴史と伝統ある校舎に、今日も三六二名の子供たちの笑顔があふれます。そして、その笑顔に寄り添う教職員、それらを支える保護者や地域の方々。各々の姿から改めて守るべきものの大きさを実感しています。未来ある子供たちの幸せの実現を目指し、誰もが輝く活力ある学校づくりに精励協働する所存です。



つくば・並木小
大村 千博

近隣には研究施設、校舎内には寄贈された多数の化石、公園の緑に囲まれた並木小学校で勤務できることに感謝と大きな喜び、職責の重さを感じております。

明るく活発な子供たち、意欲的な教職員、協力的な保護者や地域の方々を大切に、子供の成長を喜び、誰もが幸せを感じる学校づくりを誠実に行ってまいります。



つくば・真瀬小
大久保 悦郎

伝統ある真瀬小学校に赴任し、素直な児童、温かな保護者・地域の皆様、熱心な教職員とともに勤務できることに、大きな喜びと職責の重さを感じております。学校を支えてくださる皆様との連携を大切に、「チャレンジ」「笑顔」「協働」を合言葉に、「児童とともに豊かに成長できる」学校づくりに全力で取り組んでまいります。



つくば・柳橋小
塚崎 浩子

創立二四八年となる柳橋小学校は、温かい地域の皆様の応援をいただき、伝統を繋いでいます。職責の重さを感じる毎日です。「や・優しい」ぎ・疑問をもって「は・話を聞いて自分の考えを話すし・自分を大事に」を合言葉に、前に進む勇気と静謐の気持ちを常にもち、教職員とともに笑顔あふれる学校をつくってまいります。

校長室の窓から外を覗くと、自然豊かな田園風景が広がり、その後ろに壮大な筑波山が広がっております。それを眺めていると、安心感とやる気のみなぎつてきます。子供たちにとっても、大穂中学校が安心・安全な場所となり、チャレンジできる場所となるよう教職員一丸となって、学校づくりに取り組んでいきます。



つくば・大穂中
久松 和則



つくば・荃崎中
高野 満美子

素直な優しい生徒、熱意のある教職員、協力的な保護者・地域の方々に支えられ、荃崎中学校に勤務できることに喜びと、校長としての職責の重さを強く感じております。

教職員とともに、全校一六四名の生徒の成長が実感できる学校づくりを目指して、取り組んでまいります。



つくば・みどりの南中
野村 光弘

本校は、令和六年四月に開校したばかりの新しい中学校です。新たな門出にあたり、校長として深い喜びと強い決意を胸に抱いております。



つくば・みどりの学園義務
山田 聡

児童生徒数の急増により今年度分離をし、学園生が約一八〇名になりました。今後人口増が見込まれ、活気あふれる地域の学校に勤務する重みを日々感じております。本校教育目標「自らの感性を磨き、絶えず探究心をもち、幸せな未来を創造しようとする学園生の育成」を目指し、精一杯努力してまいります。

「不撓不屈」を合言葉に、常に真摯に学ぶ姿勢と責任をもつ覚悟、笑顔忘れずに、全力で学校経営に努めてまいります。



守谷・高野小
桑原 千恵子

本校は「未来を生きるたくましい子供を育てる」学校教育目標を掲げ、今年度、一五〇周年を迎える歴史と伝統ある学校です。未来で活躍する自律した人財を育てることを目指し、地域の教育的資源を生かしながら、児童、教職員一人一人を大切に、誰一人取り残さず、未来志向、持続可能な学校づくりに取り組めます。



守谷・守谷中
直井 健治

明るく元気な子供たちとやる気に満ちあふれた教職員、協力的な保護者や地域の皆さんに支えられた、この伝統ある守谷中学校に勤務できることに大きな喜びと職責の重さを実感しております。

緑豊かな稲敷の地に立ち、歴史と伝統のある高田小学校に勤務できることに喜びと責任の重さを感じております。



稲敷・高田小
富田 英彦

本校に通うすべての子供たちが健やかに成長できるよう、保護者や地域の方々との連携を大切にしながら、教職員が一枚岩となつて日々の教育活動に全力で取り組んでまいります。



稲敷・あずま東小
二宮 隆二

あたたかな地域の方々に見守られ、明朗快活な子供たち、明るくエネルギーシユな教職員と共に、学校生活を送れることに喜びと職責の重さを感じる毎日です。

地域の宝である子供たちの幸せのために、自分らしさを忘れず、人を大切にし、「笑顔とやさしさに満ちた学校」づくりに全力で取り組んでまいります。



稲敷・東中
川中 俊治

「八千石の野にそよぐ 稲穂のごとく伸びやかに」と校歌にあるように広大な水田に囲まれた東中学校。豊かな環境の中で、素直に伸びやかに育つ生徒たち、生徒一人一人の成長を喜び合える教職員、日々応援してくださいる保護者や地域の方々とともに、誰もが「幸せ」だと思える「温かい学校」づくりに尽力してまいります。



つくばみらい・小絹小
櫻井 芳則

子供たちとの元氣な挨拶で爽やかな一日がスタートします。明るい子供たちと情熱あふれる教職員、温かな保護者や地域の方々に支えられ、伝統ある小絹小学校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。「やる気・本気・笑顔と感動のある楽しい学校づくり」の実現のため、全力で教育活動に取り組んでまいります。

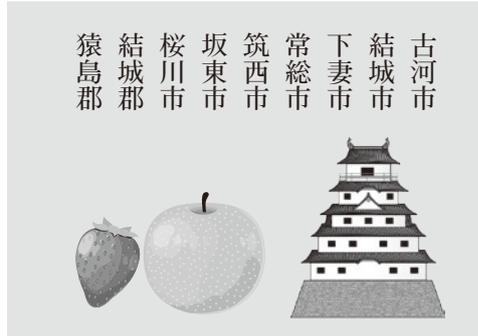
昨年度、町内三つの小学校が統合し、町内で唯一の小学校となりました。このような創立間もない学校に赴任し、改めてその職責の重さを感じています。保護者や地域の方々に愛され、信頼される学校づくりに向け、教職員と一丸となつて学校づくりに取り組んでまいります。



北相馬・利根小
林 雅之

母校であり、教員、保護者としてお世話になった、大好きな古河第二小学校に勤務できることに大きな喜びを感じております。「みんなとつこり」を合い言葉に、「あいさつと温かい言葉が行き交うあつたか学校」づくりに、児童、教職員、地域の皆様とともに、誠実に全力で取り組んでまいります。

県西



古河・古河第四小
浅野 光省

古河第四小学校は、人権の学校として、地区の中心校の役割を担っています。私自身、以前六年間勤務した学校でもあり、懐かしさを感じながら赴任しました。児童は、「姿勢を正しく」の教育目標のもとでのびのびと生活しています。本校勤務の喜びとともに、学校・家庭・地域と連携ながら子供

の健全育成に全力を尽くします。



古河・古河第五小
沼田 秀人

元気で素直な児童たち、大変協力的な保護者や地域の方々、職務に誠実に取り組む教職員に支えられて勤務できる喜びと職責の重さを感じています。古河五小だからこそできる教育活動を全教職員一丸となり、「児童一人一人が笑顔で自信をもって成長していくための学校づくり」に全力で取り組んでまいります。



古河・釈迦小
塚田 伸子

昨年度一五〇周年を迎えた歴史と伝統のある釈迦小学校に勤務できることの喜びを感じるとともに、その職責の重さを感じております。本校の教育目標である「よく考え、思いやりのある、元氣な子の育成」に向け、保護者や地域の皆様のご協力をいただきながら、教職員一丸となつて教育活動

に取り組んでまいります。



古河・小堤小
石神 賢一

本校のシンボルである「しいの木」に見守られ、創立二二五年を迎える歴史と伝統ある本校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。保護者や地域とビジョンを共有し、連携・協働しながら、地域の宝である子供たちが笑顔であふれる楽しい学校づくりに取り組んでまいります。



古河・上大野小
鈴木 孝至

校長室に飾られる歴代の写真と地域の方々からの声。上大野小学校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。草刈り後の下校指導の時には、児童たちからの「ありがとうございます」の声で癒されます。未来ある子供の成長を主語にし、教職員一丸となって何事にもチャレンジ精神で取り組んでまいります。



古河・下辺見小
吉田 薫

明るく元気な子供たちと温かく協力的な保護者・地域の皆様、熱意あふれる教職員に支えられて勤務できることに大きな喜びを感じております。学校教育目標「心ゆたかにたくましく夢や目標をもって生き生きと学ぶ児童の育成」を目指し、子供たちのため、家庭・地域と協働で取り組んでまいります。



古河・中央小
西村 務

明るく素直な四八四名の児童と、熱心で優しいさのある四六名の教職員で四月をスタートしました。保護者や地域の方々はとも理解があり、充実した教育活動が行えるのではないかと感じています。「知・徳・体のバランスのとれた人間性豊かな児童の育成」を目指し、温かな学校づくりを進めていきます。



古河・大和田小
鈴木 寛志

毎日が、とても楽しく新鮮です。明るくかわいいう七六名の子供たちと、温かく協力的な地域である大和田小に勤務できる喜びを、日々、感じています。「え・が・お」をキャッチフレーズとし、「子供も、保護者・地域の方も、教職員も通いたくなる学校」づくりに取り組んでまいります。



古河・駒込小
山下 尚美

創立一三二年を迎える歴史と伝統ある駒込小学校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。



古河・名崎小
石井 美津子

働きたいを実感できる職場で、「大切にする」を合い言葉に「笑顔あふれる学校づくり」を目指して、地域・学校・保護者とともに一人一人の子供たちのために取り組んでまいります。

「おはようございます」明るく愛らしい「なきキッズ」の「笑顔」から一日がスタートします。その笑顔を支える熱意ある教職員。温かく力強く協力してくださる保護者・地域の方々。創立一四九年の歴史と伝統ある名崎小学校に勤務できる喜びと職責の重さを胸に刻み、愛され親しまれる笑顔あふれる学校づくりに尽力します。



古河・古河第三中
川村 健

素直な生徒たち、熱意ある教職員、協力的な保護者や地域の方々に囲まれた古河第三中学校に勤務できる喜びと、職責の重さを日々感じております。「心身ともにたくましく、自主的精神に満ちた、人間性豊かな生徒」の育成を目指し、「協働的な学び」の質を高める授業づくりを柱に、全職員一丸となり取り組んでまいります。



結城・絹川小
川島 敬一

雄大な鬼怒川と実り豊かな大地に臨む創立二五〇年の歴史と伝統ある絹川小学校に赴任し、その喜びと職責の重さを実感しております。

「人を大切にする学校づくり」を目指し、「俯瞰」を心がけ、素直な子供たち一人一人のよさと可能性を見いだし、最大限に伸ばしていきたいと考えております。



結城・江川北小
仲見川 有紀子

「笑顔あふれる学校づくり」の実現に向けて、子供たち一人一人の可能性を見いだし、引き出していきます。そのために教職員一人一人を大切にし、笑顔で子供たちに寄り添うことができる力を付け、万里一空の精神で、すべての教育活動と「地域や社会を支えていく人財育成」に向けた取組を学校全体で考え、進めてまいります。



下妻・総上小
齋藤 貴史

明るく素直な子供たちと情熱あふれる教職員、協力的な保護者や地域の方々に支えられ、伝統ある総上小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。「ふれあい、ささえあい、かんしゃしあい、みんなで伸びる総上っ子」を合い言葉に、児童・教職員が生き生きと輝き、地域と共にある学校づくりに努めてまいります。



下妻・豊加美小
関 亜紀

明治五年開校、創立一三六年度の歴史と伝統のある豊加美小学校に勤務できる喜びとその職責の重さを実感しながら、充実した日々を過ごしております。

「自ら学び、心豊かでたくましく生きる豊加美の子」を目指し、保護者・地域の皆様と共に、教職員一丸となって、笑顔あふれる学校づくりに全力で取り組みます。



常総・五箇小
宮内 裕子

創立一三五年を迎える自然豊かで歴史と伝統ある五箇小学校に勤務できる喜びとともにその職責の重さを実感しております。「笑顔あふれる五箇小学校 みんなで創る自慢の学校」の実現に向けて、素直で元気な子供たち、明るく熱心な教職員、温かく協力的な保護者・地域の皆様と共に取り組んでまいります。



常総・三妻小
新井 奈苗

創立一三七年の歴史と伝統ある三妻小学校。素直で明るい子供たち、熱意ある教職員、温かく応援してくださる保護者や地域の方々に囲まれて勤務できる喜びとともに

に、職責の重さを実感しております。「ナ(なかま)とイ(いい)ことをス(す)すんでしよう(い)なみ・つ・ま」を合い言葉に、魅力ある学校づくりに努めます。



常総・菅原小
鈴木 尚美

素直で明るい子供たち、前向きで熱意あふれる教職員、協力的な保護者と地域の方々に囲まれ、伝統ある菅原小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じています。本校の教育目標「よく学び、心豊かで、たくましい菅原っ子の育成」の実現に向け、全教職員で地域とともに歩む学校づくりに精一杯努めてまいります。



常総・菅生小
倉持 靖子

「菅生 よいところ」から始まる本校の校歌。明るく元気に歌う児童の姿から、一人一人の限らない可能性が感じられます。

本校の合い言葉「すがおの心を育てよう」のもと、児童・教職員・保護者・地域のすべての方々と、学校が魅力のある「よいところ」となるようチームで全力で取り組んでまいります。



常総・玉小
印南 千明

創立一三五年を迎える歴史と伝統ある玉小学校に勤務できることに、大きな喜びとともに職責の重さを感じております。本校の教育目標である「よく学びよく考え、思いやりの心をもつてたくましく生きる児童の育成」に向けて、教職員・保護者・地域の方と力を合わせ、全力で取り組んでまいります。



常総・飯沼小
吉澤 博之

元気な子供たち、活力ある教職員、温かな保護者や地域の方々に囲まれた、伝統ある飯沼小学校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。「人と人の心のつながり」と「社会に生きる人間力の育成」を柱に子供たちが生き生きと学び、教師が子供たちと共に成長できる学校を目指してまいります。

元気が子供たち、活力ある教職員、温かな保護者や地域の方々に囲まれた、伝統ある飯沼小学校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。「人と人の心のつながり」と「社会に生きる人間力の育成」を柱に子供たちが生き生きと学び、教師が子供たちと共に成長できる学校を目指してまいります。



常総・水海道中
中山 幸一

素直で明るい生徒たち、情熱あふれる教職員、協力的な保護者・地域の方々に出会えた喜びと、伝統ある水海道中学校に勤務する職責の重さを実感しています。「心豊かで、自ら考え、行動できる生徒の育成」を目指し、「夢と感動あふれる学校」となるよう、教職員一丸となって全力で取り組んでまいります。



常総・鬼怒中
星野 美千代

「夢をいだし 未来を創る ほんとの絆の常総教育」の教育理念が息づく地域で、大切に育まれた生徒たちとの出会いに感謝します。優しい眼差しで寄り添う教職員、愛情をもって協力してくださる保護者や地域の皆様とともに、誰もがこの学校で学べて幸せだったと誇りをもてるよう笑顔の輝く学校づくりを目指します。

「夢をいだし 未来を創る ほんとの絆の常総教育」の教育理念が息づく地域で、大切に育まれた生徒たちとの出会いに感謝します。優しい眼差しで寄り添う教職員、愛情をもって協力してくださる保護者や地域の皆様とともに、誰もがこの学校で学べて幸せだったと誇りをもてるよう笑顔の輝く学校づくりを目指します。



筑西・五所小
大槻 雅史

明るく元気で素直な子供たち、熱意ある教職員、温かく協力的な保護者・地域の皆様に出会えた喜びと、伝統ある五所小学校に勤務することになった職責を日々感じています。これから、「みんなが輝く五所小」を合い言葉に、教職員が一丸となって、全力で取り組んでいきたいと思っております。



筑西・古里小
小倉 かつよ

明るく素直な子供たち、温かな保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、創立一五〇年を迎える歴史と伝統のある古里小学校に勤務できる喜びと職責の重さを感じております。

「児童一人一人のよさを伸ばし、笑顔が輝く学校づくり」に向け、「チーム古里小」で取り組んでまいります。



筑西・下館南中
谷島 敏浩

素直で明るい生徒たち、熱意ある教職員、そして協力的で温かな保護者や地域の方々に囲まれて、我が母校である下館南中学校に勤務できる喜びとその職責の重さに身の引き締まる思いです。

「生徒にとつても教職員にとつても楽しい学校」を目指して、生徒、教職員一人一人に寄り添いながら、全力を尽くします。



坂東・弓馬田小
坂本 悦子

弓馬田小には、子供たちを見守る大樹が三本あります。中でも、敷地の真ん中に立つ大ケヤキはシンボルツリーとして地域の方からも愛されています。大ケヤキのようになくたくましく「笑顔あふれる元

気いっばいの弓馬田つ子」の育成を目指し、地域の方々・教職員・保護者が協力し合って、前進できる学校を目指します。



坂東・岩井第一小
鈴木 忠雄

歴史と伝統ある岩井一小への着任は、喜びと同時に重責を感じております。子供との関わりに全力を傾けてくれる教職員を全力で守り支えるとともに、笑顔あふれる学校づくりに邁進してまいります。

未来を担う無限の可能性をもつ子供たちの成長を、共に喜ぶことができるプロの教職員集団を目指して努力いたします。



坂東・岩井第二小
小川 裕貴

明るく素直な子供たちと温かく思いやりのある教職員、学校に協力的な家庭・保護者・地域の方々に支えられた岩井第二小学校に勤務できる喜びと職責の重さを日々実感しております。

人を大切にする、自分の考えをもつ、自分を表現する、チャレンジする等の力を付けられる学校となるよう努めてまいります。



坂東・長須小
瀬川 幹子

明るく素直な子供たち、熱心な教職員、温かくお支えくださる保護者・地域の皆様。一五〇年の歴史と伝統ある長須小学校で勤務できる喜びと感謝を忘れることなく、地域の宝である子供たちをしっかりとお預かりし、「楽しく学び鍛えあい、豊かな心を皆で育む」の目標に向かって、校長として精一杯努めてまいります。



坂東・生子菅小
小倉 弘明

豊かな自然、素直で思いやりのある子供たち、情熱あふれ気遣いのできる教職員、とても協力的な保護者や地域の方々に囲まれて、生子菅小学校に勤務できる喜びと責任の重さを実感しています。子供たちのよさをさらに引き出し、「信頼と喜びにあふれた学校」を目指し、全職員と共に取り組んでいきます。

素直で思いやりのある子供たち、情熱あふれ気遣いのできる教職員、とても協力的な保護者や地域の方々に囲まれて、生子菅小学校に勤務できる喜びと責任の重さを実感しています。子供たちのよさをさらに引き出し、「信頼と喜びにあふれた学校」を目指し、全職員と共に取り組んでいきます。



坂東・杏掛小
渡辺 幸司

創立一五二年目を迎える歴史と伝統のある杏掛小学校に勤務することができると、その職責の重さを実感しております。「明るく(あいさつ)きれいな(そうじ)楽しい(授業)学校」を合い言葉に、これからも本校の伝統である「地域とともにある学校」に向け、一九六名の子供たちとともに、全力で頑張っております。



坂東・内野山小
本橋 弘巳

豊かな自然に囲まれ、地域とともに歩む内野山小学校に勤務できる喜びと、その職責の重さを実感しております。

小規模校のメリットを最大限に生かし、本校の教育目標「自ら学び、心豊かにたくましく生きる子供の育成」に向け、保護者・地域の皆様と一丸となって取り組んでまいります。



坂東・東中
逆井 隆史

豊かな自然に囲まれ、創立五三年目を迎える坂東市立東中学校に勤務できる喜びと、職責の重さを日々感じております。

「いつも笑顔 自分らしさを大切に」をキャッチフレーズに、「夢や夢の卵を育む学校・学級づくり」を目指して、「チーム東中」で力を合わせて取り組んでまいります。



坂東・南中
倉持 浩

校長として新たに与えられた職責の重さを実感しつつ、自問自答している毎日ですが、生徒や職員の笑顔と元気に励まされしております。

南中学校のよさを生かし、生徒、職員、保護者、地域が「チーム南中」となって、生徒の可能性を最大限に引き出し、伸ばせる学校を目指してまいります。



桜川・谷貝小
西村 孝幸

豊かな自然に囲まれ、歴史と伝統のある谷貝小学校で勤務できる喜びとともに責任の重さを日々実感しています。

「元気で明るく楽しい学校」を合言葉に、児童が生き生きと活動し、「笑顔」あふれる学校になるよう教職員・保護者・地域の方々と力を合わせて、全力で取り組んでまいります。



結城郡・安静小
石塚 和佳子

昨年創立二五〇年を迎えた歴史ある本校は、校庭に色とりどりの花が咲く、地域に根ざした学校です。元気な挨拶が気持ちのよい子供たち、持ち味を生かして支え合う教職員、協力的な保護者と地域の方々に支えられ、感謝の日々です。子供たちの思いを大切にしながら、より一層愛される学校づくりに励んでまいります。



猿島・五霞小
鈴木 勝久

この春、二つの学校が統合し、五霞小学校が誕生しました。また、本校は中学校と連携し、施設一体型の小中一貫校となりました。一人一人の子供たちを大切に、「目標(みらい)」に向かって諦めず、相談し合って、ベストを尽くす」のスローガンのもと、日々、子供たちの笑顔のために尽力しています。



猿島・境第二中
坂上 隆

素直で心優しい生徒、熱意ある教職員、温かく協力的な保護者・地域の皆様に支えられながら、本校に勤務できる喜びと職責の重さを実感しております。

「自ら学び正しく判断し健康で思いやりのある生徒の育成」を教育目標に掲げ、笑顔あふれる学校を目指し、教職員一丸となって取り組んでまいります。

再任会員名簿 (敬称略)

No.	郡市名	学校名	氏名
1	水戸市	第二中	藤枝 祥子
2	ひたちなか市	東石川小	高橋 重樹
3	小美玉市	小川南小	佐藤 雅記
4	東茨城郡	明光中	中山 和彦
5	東茨城郡	第二中(茨)	岩城 和久
6	日立市	助川小	平子 剛之
7	日立市	豊浦小	横山 宏栄
8	日立市	榊形小	芳賀 友博
9	日立市	泉丘中	多田 賢一
10	日立市	坂本中	田所 俊哉

No.	郡市名	学校名	氏名
11	北茨城市	中郷第一小	川和 雅人
12	北茨城市	中郷中	小泉 一彦
13	神栖市	神栖第一中	長峰 正道
14	鉾田市	鉾田南中	宮内 孝浩
15	潮来市	潮来小	西谷 京子
16	行方市	玉造中	遠藤 智幸
17	石岡市	石岡中	朝賀 隆行
18	取手市	取手西小	伊藤 誠
19	牛久市	吾妻中	前原 仁
20	つくば市	吾妻中	菅谷 和美
21	結城市	城南小	須藤 恵美
22	結城市	結城中	木村 成雄
23	筑西市	下館中	田崎 論
24	坂東市	岩井中	鈴木 清子
25	桜川市	坂戸小	酒井 雄一
26	結城郡	東中	太田 一茂
27	猿島郡	境小	山崎 英男

令和六年度 学校長会役員

- 会長 大芝 静香(水・第一中)
- 副会長 鈴木 宏一(水・三の丸小)
- 副会長 佐藤 正一(常太・太田中)
- 副会長 田辺 光博(行・玉造小)
- 副会長 小松崎龍太郎(王新造学園義務)
- 副会長 石塚 浩司(古・三和中)
- 監事 鈴木 麻紀(水・五軒小)
- 監事 高橋 裕子(北・石岡小)
- 監事 鹿間 寿枝(鹿・豊郷小)
- 監事 小松原 剛(稲・桜川中)
- 監事 根本 亮平(結城郡川西小)



- 上段右より…
- 石塚 浩司 副会長
 - 小松崎龍太郎 副会長
 - 田辺 光博 副会長
- 下段右より…
- 佐藤 正一 副会長
 - 大芝 静香 会長
 - 鈴木 宏一 副会長

令和六年度 (二財)茨城県教育センター (教育プラザいばらき内) 職員

理事長 東小川昌夫
副理事長 坂場 克身
事務局長 木村 明弘
主幹(校長会担当) 川又 宏文
主幹(全連小等担当) 片岡 寿夫
主幹(研究会担当) 豊田 雅之
主幹(校長会研究会担当) 佐々木有香
主幹(教育セクター担当) 石島久美子

編集後記

一二九名の新会員の皆様を迎え令和六年度の教育活動が順調に展開されております。年度始めのご多用の中、原稿をお寄せいただきました皆様にご心より感謝申し上げます。